京城日報
二十日夕刊
發行所 合資會社 京城日報社 京城太平通二丁目
發行兼編輯人 [illegible]　印刷人 [illegible]

## ◎温州府の獨立宣言

其筋に達せる報道に據れば浙江省温州府は十八日獨立を宣言したる由同所は福建省に近きを以て其の影響の福建省に波及する事尠少に非ざるべし(東京特電)

## ◎南京支那軍艦急派さる 馮國璋中立を宣言す

南京に碇泊せる支那軍艦は悉く安徽に急派せられたり馮國璋は四月十七日中立を宣言し外國人の生命財産の安全を保障せり南京には支那軍艦の影を認めず但し浦口には四隻碇泊し居れり十六日長沙の北方湘陰に集中の爲一二千の安徽軍は北進しつゝあり(上海特電)

## ◎廣西軍の廣東侵入

廣西將軍陸榮廷麾下の獨立軍は廣東省内に侵入せり北京に内聽し八百長獨立を宣布せる龍濟光の身邊頗る危險切迫せり(東京特電)

## ◎段祺瑞野心を懷く

今日迄形勢を觀望し態度を決せざりし各省は孰れも八百長獨立を宣布するに決せり段祺瑞は極力南北の調停妥協に盡力奔走しつゝあり袁總統退職後自ら代つて其後を襲はんとする野心を包藏し居れるが如し(東京電報)

## ◎各省獨立と廣東

陝西省獨立を宣言し湖南の獨立も切迫せり奉天省は段將軍と張作霖の意志稍疎通し段の奉天引揚げと共に中立を宣布するに決したり廣東革命黨は將軍龍濟光の獨立宣言が袁總統との八百長狂言たる事分明し之を撲滅して新に獨立を宣布せんと畫策進行中なり(東京特電)

## ◎陸駐日支那公使去る

支那公使陸宗輿氏は夫人同伴二十日午前八時半東京驛發歸國の途に上れり同驛には幣原外務書記官小池政務局長犬養毅氏大倉男等四十餘名の見送りありたり(東京特電)

## ◎對獨最後通牒要項完成

華盛頓發電に曰くウヰルソン氏は潜航艇に對する對獨最後の通牒の要項を完成せり又墺國に對し露國汽船イムペラトル號砲擊事件の説明を求めたり(倫敦電報)

## ◎對獨最後通牒 ウヰルソン氏の

華盛頓來電に據れば米國大統領ウヰルソン氏の對獨通牒は既に發送せられたり該通牒は米國人を乘せたる商船に對し獨逸が其の暴行を中止するにあらざれば米獨の國交は斷絶せらるべきを警告し迅速なる返答を要求せるが右は事實上の最後の通牒なり(紐育電報)

## ◎英國内閣危機に瀕す

募兵問題に就き内閣は再び危機に瀕せりロイドヂョーヂ氏及びウイリアムロバートソン將軍は閣議に先ち一層强硬なる手段が採用せらるゝに非ざれば其の職に留まり得ざるべしとなせりクロニクル紙は本日閣員中の數名は辭職するやも知れず閣員の多數は募兵に關し新なる手段を採る必要ありとは信じ居らずロイドヂョーヂ氏は軍隊の必要の爲には獨身者の募集を除外することは能はずと强硬に主張せり(倫敦電報)

## ◎獨軍大損害を蒙る

巴里發表の公報に曰く獨軍は十七日の戰鬪に大損害を蒙りし爲め其の後ヴヱルダンに對し步兵攻擊を行はず(東京特電)

## ◎大軍擊退

敵の大軍はストリツパ河口に於て露軍の支持せる一小丘を攻擊せるも多大の損害を蒙りて擊退せられたり(倫敦電報)

## ◎英軍の苦戰

メソポタミヤ遠征軍司令官レーク將軍の報告に曰く四月十七日夜我軍はチグリス河右岸に於て數回の猛烈なる逆襲に遇ひ我戰線の或る塲所に於て五百碼乃至八百碼の方に押流されたり(倫敦電報)

## ◎鐵材禁輸問題

英國の鐵材輸出禁止に因る我造船工業界の被る打擊頗る大にして之が緩和策に關し政府に陳情する向尠からざるも英國の現狀より見れば殆んど緩和の餘地なきものゝ如し(東京電報)

## ◎日銀利下方針

日本銀行は引續き利下を決行する方針なりと武富藏相言明せり(東京電報)

## ◎坂谷男一行旅程

經濟同盟會議特派委員坂谷男一行は鮮滿經由西比利亞線により露都に出で瑞典諾威より北海を經て英國に立寄り巴里に入る豫定なりと(東京電報)

## ◎高橋總督附武官

朝鮮總督附武官砲兵大佐高橋綏次郎氏は二十日朝對馬丸にて赴任の途に就きたり(門司特電)

## ◎橋本師團長

橋本第九師團長は連絡船高麗丸にて著釜十時半の列車にて龍山に向へり(釜山特電)

## ◎茂山隧道貫通

清津會寧間鐵道工事清津より三十五哩なる第一茂山嶺(延長三千〇四十九呎)は十九日午前零時貫通す(清津特電)

## ◎寺內總督告辭

醫專開校式に於ける

寺內總督は二十日午前十時京城醫學專門學校開校式に臨塲し職員生徒一同に對し左の告辭を與へり

告辭

今回朝鮮總督府專門學校官制公布せられ、並に京城醫學專門學校の設立を見、本日を以て開校の式を擧ぐるに至れるは本總督の欣幸とする所也。惟ふに國家の隆昌は敎育の發達に負ふ所多し、今や各種學校の設備漸く完備の域に達し學校卒業者の數漸次多きを加へ、遂に專門學校設置の機運に會す。寔に朝鮮敎育上の慶事にして邦家人文の發展に貢獻する所のもの蓋し鮮少ならざる可し。抑々醫師は衞生の仁術を以て其の業務と爲す。夫の應病授藥宜しきに適し能く起死回生の効を奏するは偏に之を醫師學術の研鑽と技能の練磨とに待たざるべからず。京城醫學專門學校は醫學に關する專門敎育を施し疾病診療の學術技能を具備したる醫師の養成を以て本旨とす。敎官たる者克く此意を體し、生徒をして常に醫師たる責任の重大なる所以を知らしめ、技術の練磨を怠らざると共に親切と同情とを以て忠實其業務に服するの資質を涵養するを要す。生徒たる者克く其の本分を守り苟くも輕佻浮華の風に陷ることなく恪勤自重敢て或は懈ることなく以て本校敎養の方針に副はむことを要す。學校長は克く部下を督勵し生徒を率ゐ、夙夜淬勵して本校設立の旨趣を完うせむことを期す可し。一言以て告辭と爲す。

## ◎四月上半貿易

總額四百十萬八千餘圓 輸移入超過七十三萬圓

▲貿易總額 四月上半の朝鮮貿易は輸移出品價百六十八萬五千二百十圓、輸移入品價二百四十二萬二千八百五十圓、合計四百十萬八千六百六十圓にして七十三萬七千六百四十圓の輸移入超過を示し之れを前年同期の輸移入超過六十三萬五千百八十一圓に比すれば尙ほ十萬餘圓を增加せり

▲貿易額累計 次ぎに本年一月以降の累計を見るに輸移出品價一千三百三十三萬一千七百十四圓、輸移入品價一千八百十七萬九千四百十四圓、合計三千百五十一萬一千百二十五圓にして結局四百八十四萬七千餘圓の輸移入超過を算し、前年同期に比すれば輸移出に於て九十七圓の增加を呈し輸移入に於て五百三十二萬八千餘圓を增加せる結果輸移入超過額に於て四百三十三萬五千餘圓の增加を示せり

▲貿易重要品 本月上半並に一月以降累計の貿易重要品價を示せば左の如し

輸移出重要品價(圓)

| 品名 | 本月上半 | 一月以降累計 |
|---|---|---|
| 米類 | 七一八、三八七 | 五、七〇一、三四四 |
| 豆類 | 二〇九、六四六 | 一、五一一、四七九 |
| 鮮魚 | 一八、一一八 | 八七、七四九 |
| 乾鹽魚 | 八、四七五 | 七六、三二七 |
| 人蔘 | 三三七 | 四、二八三 |
| 綿花 | 二五、二六三 | 一、〇〇四、二九七 |
| 金鑛 | 一、七四六 | 五二、八一八 |
| 鐵鑛 | 三一、五七五 | 五三、八七九 |
| 黑鉛 | 七、八三〇 | 一八、八九二 |
| 石炭 | 三六、七三三 | 一四三、三九二 |
| 牛皮 | 一四九、〇二七 | 一、〇八四、二九九 |
| 生牛 | 一七、四四三 | 一二七、一九三 |
| 肥料 | 二七、一八五 | 一七一、〇四一 |

輸移入重要品價(圓)

| 品名 | 本月上半 | 一月以降累計 |
|---|---|---|
| 米 | 八二二 | 一〇、五四〇 |
| 粟 | 二、二三四 | 五、六四九 |
| 小麥粉 | 三四、三八八 | 二〇九、三三七 |
| 食鹽 | 四六、六一七 | 一六五、〇三二 |
| 鹽魚 | 一八、六九三 | 一五三、七四七 |
| 砂糖 | 六二、三〇六 | 四九〇、一七七 |
| 清酒 | 二四、〇六六 | 一八二、一三三 |
| 麥酒 | 四二、六四四 | 九八、九二九 |
| 石油 | 九、三二六 | 四一三、一九三 |
| 鐵類 | 四、一一四 | 一〇四、一一六 |
| 綿絲 | 一二一、三九五 | 一、一六三、三二五 |
| 生金巾 | 七二、九八二 | 一、六二八、八八一 |
| 晒金巾 | 五三、五三四 | 九八九、〇〇三 |
| 天竺布 | 三二、〇一〇 | 一四二、六七九 |
| 綿繻子類 | 六、三二八 | 一七二、一四七 |
| 日本綿布 | 一一二、九八一 | 六九〇、〇〇二 |
| 支那麻布 | 一六三、〇九〇 | 五六四、〇二四 |
| 毛織物 | 二五、二九九 | 一九〇、八八九 |
| 絹織物 | 三九、一八〇 | 四三八、二二四 |
| 紙 | 五八、四五四 | 五三六、二九四 |
| 熟鐵 | 四二、四七一 | 二四〇、〇九九 |
| 鐵管類 | 三、八一七 | 一七、四〇〇 |
| 軌條類 | 二三、六一九 | 二〇七、六六八 |
| 汽關車 | 四、七〇八 | 五、七九三 |
| 煙草 | 二四、二三六 | 一一三、二四一 |
| 石炭 | 六九、〇六九 | 四五〇、九三一 |
| 木材及板 | 四〇、七五七 | 一九三、〇二七 |
| 叺及筵 | 二一、六二二 | 一九一、三二四 |
| セメント類 | 二五、一五一 | 一四〇、六一六 |
| マツチ | 一〇、五五四 | 三六六、九五〇 |

▲出入金銀高 倚ほ當期の金銀貨並に金銀地金出入額は出高八十二万五千五百六十二圓、入高七千七百三十四圓にして一月以降の累計は出高四百三十二萬一千三百十八圓入高十三萬七千八百九十七圓なり

## ◎重石出願許可

鑛業令施行後に於ける鑛業出願者の處分に就ては爾來當局に於て頗る整理に努め來れる結果、諸般の事項大に進捗し既に査定を了せる者尠からざるを以て、競願者なき者に對しては不日許可の通知を發すべく其の他の願書に對しても査定次第許可の通知を發す可しと

## ◎標品提出注意

鑛物の標品は鑛業出願後十日間內に提出す可きは新鑛業令に規定の通りなるが其標品には往々單に願出人の氏名のみを記載する者あり斯くの如きは當局に於て何れの願書に對して提出せるや不明なる而已ならず其整理に就きても非常の不便と手數を要する結果自然願出人の不利益となること尠からざる可きを以て標品提出に當りては其袋の表面に願出人氏名の外鑛種名、住所、鑛區所在地等明に記載す可きこと肝要なりと

## ◎假植地清祓式

朝鮮より明治神宮への奉獻木中南鮮地方の產木は釜山水源地に假植し中部及び北鮮地方の產木は京城西大門外なる林業試驗地に移植培養の上發送の筈なるは既記の通りなるが釜山は十九日假植地に對して清祓式を了し京城は二十二日午後二時より執行の筈にて當日は石塚農商工部長官をはじめ上林山林課長以下課員一同參列す可しと

## ◎立花新師團長

二十日午前著任

立花第十九師團長は竹內高級副官を隨へ二十日午前八時五十分南大門驛著公式に著任せり停車塲には井口中將、石塚、荒井、池田、松永各長官、横井技師、岩本法院長、岡本參課長、各務部長外文武官多數、尹德榮子、李完用伯、趙重應子外朝鮮貴族、野田東拓副總裁、林井上各理事、原田朝郵社長、國電氣會社專務、高野三井支店長、阿部本社長外新聞通信記者等盛んなる出迎へあり師團長は一々叮嚀の會釋をなし竹內副官と馬車に同乘儀仗兵に護衞せられて龍山に向へり第十九師團步兵第七十八聯隊、野砲兵第二十五聯隊は岡崎町邊より練兵塲西北部に堵列し更に野砲兵は禮砲式を行ひ迎へ師團長は直に師團司令部に入り同日午後二時軍司令官々邸に申告の爲め井口軍司令官を訪ひ更に馬車を返して京城に向ひ官邸に寺內總督を訪問し著任申告を爲し倚憲兵隊司令部に赴き告別式を擧げたり

## ◎師團長著任式

二十日朝著任せる立花第十九師團長は同午前著任式を行ひ次いで閣下將校並に同相當官の伺候式を擧げたる上午後一時より警務總監部に赴き告別式を行ひ、因に師團長は官邸落成まで大和亭に宿泊す可しと

## ◎總監部告別式

警務總監部にては廿日午後一時半前總長立花第十九師團長を迎へて司令部各部長憲兵隊附將校全部參集告別式を擧行せり

## ◎兩總長送迎宴

警務總監部內高級職員並に各道警務部長等は二十日午後六時三十分より立花第十九師團長並に古海警務總長を朝鮮ホテルに招待、送迎の宴を催す由

## ◎野手稅關長東上

野手鎭南浦稅關長は東京に於ける內地稅關長會議に列席の爲め十九日夜京城發東上せり

## ◎露貨復下落

日滿連絡運輸引換代金換算率中朝鮮鐵道著は二十日以降より百留に就き六十三圓七十錢(二圓三十錢落差)と爲れり

### 平壤

▲水產講習開始 平安南道江西平原安州の三郡の恩賜授產事業たる鮫縣網の漁期に入りしより此れが傳習を爲すべく已に去る十五日より江西郡より開始すべく道勸業係西原農學士は此れが講師として江西に出張中なるが講習期は各地共一箇月の豫定なり

▲敎員講習會出席者 五月一日より總督府に於て行はるゝ公立普通學校內地人敎員講習會へ平安南道よりの出席者は左の諸氏と決定せる

北院公立普通學校々長兒玉伊之助、平壤第一公立普通學校訓導河崎要五郎、鎭南浦公立普通學校訓導前川四郎

▲南浦店員運動會 鎭南浦店員大運動會は本月廿三日午前九時より稅關前築港埋立地に於て開催すべく目下各委員は準備に腐心し各選手は業務の餘暇を以て盛に練習し居れり

### 元山

▲平元鐵道線路測量 元山商城間に於ける七十二哩の鐵道線路測量の爲め鐵道局より派遣せらるゝ永田技師は五月十三日龍山發同地に赴き五月上旬踏査に著手の豫定なりと而して鐵道局よりは既に板倉技師の出張あり今回又永田技師の派遣となれるなど兎に角近來頻に平壤元山間に於ける測量を急ぎつゝあるものゝ如し

▲鰮六十五萬尾 元山附近沿岸に於ける鰮は初漁期以來四月十日に至る間頗る豐況にして總漁獲高六十五萬尾に達す內元山以南襄陽方面に至る迄の間に於て三十五萬尾元山以北遊湖に至るまでの區域に於て三十萬尾の漁獲高なりと

▲元山浦鹽間航路 目下元山浦鹽間の航路は一箇月九回の定期航海となり居れるが浦鹽に於ては解氷と共に每年本月より各種事業の開始期に入るを以て支那人勞働者の多數を需要するも本年は各方面とも船腹拂底の爲め山東省苦力を芝罘より直送する能はず何れの苦力も一度は仁川に上陸し元山に來り而して船便に依り浦鹽に向ふが故に昨今元山浦鹽間は每航海苦力を滿載し而も猶船腹の不足を告ぐるの盛況に在り

### 春川

▲大神宮祭典 十五日午後一時より例年の通り鳳儀山麓に於て大神宮祭典を擧行す此の日天候晴朗なるに加へ土曜日なるを以て文武官民の參拜者多く各學校生徒も敎員引率の下に參拜せり本年は都合により煙火を止め賣さがしの餘興あり夜間には婦人芝居及び旭石水一行の浪花節等ありたるが晝夜共に人出多く盛況を極めたり尙ほ當日の賣さがしは婦人子供の大喜びにして特等一等二等三等の賞品は何れも兒童の手に落ちたるは一段の興を添へたり一名の怪我もなく無事に終了したり因に大神宮には是れ迄拜殿の設けなく今回官民合議の上約一千圓の經費をかけ來年四月迄に完成の見込を以て拜殿を建築する事になれり

### 天安

▲圍碁大會 忠南天安にては去る十六日の日曜日天安旅館に於て春季圍碁大會を開催したるが來會者は地方の天狗連數十名にして景品は一等より十等迄と定め午後一時より始まり十時を以て終りたるが當日の勇將は第一等の藤澤氏第二等の河村氏第三等の竹下氏にして夫れ〳〵景品の授與ありたる後ち酒宴に移り十一時に散會せるが稀れなる盛會なりき

### 人事消息

▲[illegible](新任京畿道參與官) 十九日夜入京桂洞自宅へ
▲阿部秀太郎氏(前朝鮮平壤支店長) 十九日夜門司發平壤へ
▲齋藤中尉(憲兵隊司令部副官) 二十日午前釜山より歸任
▲若松兎三郎氏(釜山府尹) 入京中の所二十日午前出發歸任
▲宮川五郎三郎氏([illegible]株式會社長) 二十日午前出發歸京
▲橋本第九師團長 二十日夜入京巴城館へ投宿の豫定
▲朝倉外茂鐵氏(辯護士) 訴訟用にて公州へ出張中の處十九日歸京
▲竹內正虎氏(第十九師團副官步兵少佐) 二十日午前入京
▲山川鐵太郎氏(川崎造船所技師) 外八名一行二十日午前內地より通過長春へ
▲白川友一氏(代議士) 入京中の處二十日九時十分大邱へ
▲藤本元次郎氏(安岳鐵山支配人) 同上鎭南浦へ
▲廣江澤次郎氏 滿洲視察中の處十九日夜歸京

口立花師團長を迎ふ
○ 大塊
威風堂々花に露の香添へて
○ 一象
將軍の入國振りや風薰る

社告

今般本社市內配達區域變更中に付萬一配達漏れ又は遲延の向も有之候時は社內販賣部(電話六六〇番)へ直ちに御通告被成下度候

四月二十日
合資會社京城日報社 販賣部

公告

左ノ不動産ヲ左ノ日時ニ競賣ニ附ス
入札保證金ハ各自申出額ノ十分ノ一

京城地方法院

●京城府司諫洞貳百四拾六番地
一、垈七拾坪
最低競賣價額金參百五拾圓也
右地上ニ建設
木造瓦葺平家建本家壹棟
建坪參拾四坪九合
最低競賣價額金百七拾五圓也
右競賣申立人 [illegible]久吉
不動産所有者 朴[illegible]用

●京城府林町七拾參番地
一、垈拾七坪
最低競賣價額金七拾圓也
右地上ニ建設
木造草葺平家建本家壹棟
建坪九坪四合
最低競賣價額金四圓也
右競賣申立人 吳[illegible]
不動産所有者 [illegible]

●京城府嘉會洞百八拾番地
一、垈拾八坪
最低競賣價額金五拾四圓也
右地上ニ建設
木造草葺平家建本家壹棟
建坪九坪六合參勺
最低競賣價額金貳拾圓也
右競賣申立人 趙[illegible]
不動産所有者 梁召史

●京城府孝梯洞百拾參番地
一、垈貳拾七坪
最低競賣價額金九拾五圓也
右地上ニ建設
木造草葺平家建本家壹棟
建坪九坪參合壹勺參才
最低競賣價額金貳拾五圓也
右競賣申立人 岩國元三郞
不動産所有者 李鼎壽

●京城府笠井町拾五番地
一、垈四拾壹坪
最低競賣價額金四百拾圓也
右地上ニ建設
木造草葺平家建本家壹棟
建坪拾九坪六合六勺九才
最低競賣價額金五拾圓也
右競賣申立人 株式會社京城銀行
不動産所有者 李召史

●京城府[illegible]洞五拾壹番地
一、垈六拾九坪
最低競賣價額金六拾九圓也
右地上ニ建設
木造草葺平家建本家壹棟
建坪拾八坪五合貳勺五才
最低競賣價額金參拾六圓也
右競賣申立人 京城食糧品市場
不動産所有者 尹[illegible]

●京城府都染洞六拾七番地
[illegible]
最低競賣價額金七拾圓也
右地上ニ建設
木造草葺平家建本家壹棟
[illegible]
右競賣申立人 林[illegible]
不動産所有者 李[illegible]

●京城府體府洞百八拾九番地
一、垈參拾七坪
最低競賣價額金貳百貳拾圓也
[illegible]

[illegible]

以上競賣期日ハ大正五年四月廿九日午前十時トス

# ◎新任第十九師團長 立花中將を迎ふ

## 新師團は統一訓練上 斯んな困難と障碍がある

―と讀みさしの新聞を側へに押し遣りつゝ低いが力の籠つた聲で―

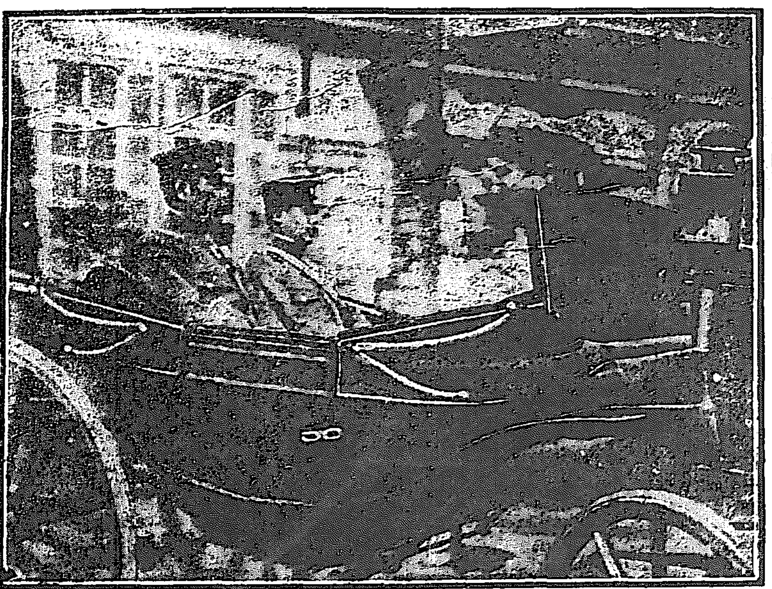
第十九師團長に親補されし立花陸軍中將は二十日午前八時五十分竹內高級副官を随へ公式に入京した、平壤在迎へた記者に語りて曰く「吾輩も永い間朝鮮にゐるから茲數年花の東京を觀なかつたが今年は丁度花時に東上し櫻雲靉靆の景に包まれたもの、又直ぐ花に背いて歸鮮つて來たよ」と云ひ〳〵讀みさしの新聞を側へに押し遣り措て語る「朝鮮の增設師團は異常の難産で

◆實に其間七八年

を閲してゐる、吾師が難産であつただけ其れ丈け予等新師團の當局は大に其の完整と訓練の責任を感じ而して任務の重且つ大なるものあるを覺ゆる、と同時に此迂餘曲折を經て新に設けられた新師團に對しては一般の深い同情と後援を切に希望する次第である、增師問題の喧しかつた七八年の間に內地の一部には增師不必要なる反對論も見えたが、朝鮮の上下はよく一致團結して增師の必要を絶叫し或は增師期成同盟會を組織し或は當局大臣に建議請願し終始一貫其の終局の目的に向つて努力したのだから此生れ出た新師團には無論予等の言を待つまでもなく十二分の後援と同情は江湖より蒐まるだらうと信ずるが特に繰返して茲に予の所望を述ぶる譯である」將軍の聲は低いが耕張く續く「第十九師團は新設師團であるけれど其の將校は

◆全國各師團より

之れを拔き下士以下の兵卒も同じく各聯隊より若干宛割戴し而して茲に漸く一師團の編成が出來たのである換言すれば十二個中隊を以て編成された一聯隊の兵士が其聯隊管區の各地から入隊して來たやうに第十九師團は母國の方々より寄せ集めた諸兵の集團である、此の東北並に中部乃至西部日本の(同じからぬ各地出身の將校及び兵士を打つて一團とし將校に各聯隊には其の聯隊の健實な風を作り步騎砲工各聯隊には其の聯隊の氣風な特色を養成し而して師團の完成を圖るには一段の困難があり亦容易ならぬ任務である、如何にして之れを遂行するかは予の大命拜受以來夢寐にも忘れ得ぬ點だ、何れ軍旗授與の式が終れば各聯隊長を司令部に召集し詳細兵氣の



立花新師團長著任」二十日朝南大門驛

◆養成訓練守備等

に就き訓示をする筈である……殊に新師團の統一訓練には前述の外別に種々の障碍がある、其れは各隊の分派ぢや、步兵は半島中部以北の各地に守備駐屯せしむる事三十四箇所の多きに上つてゐる、砲工騎各特科兵にも或は羅南に會寧に亦は龍山に分駐し其の團隊的教育に就ては豫想外の苦心を要さねばならぬのである(同時に現下各地に分派屯せる小隊或は分隊は少なくも聯隊大隊の駐屯地に引揚げるだらうとの說を作す者もあると云ふ、予等は素より師團幹部として其の分遣守備隊集團の必要を認め亦其の期の到來の一日も速やかならん事を希望する併し物には順序がある現下の守備隊は朝鮮統治の必要上各地に配置されてあるのだ、其の統治上の必要關係に多く意を用ゐず妄りに其の集團を欲する如きは

◆半島治安の維持上

予等の宜しく控へねばならぬ事である、此の守備隊の設置と否とは總督及び軍司令官が協議の上決せらるゝ事で予等は多く與り知らぬけれど將來は兎も角近き時日の間には守備隊大廢合などの行はるゝ事は決してないであらう」各驛に警官や地方有志が新師團長を送迎する、水原まで大森副官が出迎へに來て安著を祝した將軍は一寸答禮して亦語る「新師團は統一訓練上以上の困難と障碍があり加ふるに(其の主要なる目的の防備は一日も之れを忽にする事は出來ぬ、乃ち其の設備を視る鴨綠及び豆滿兩江の對岸には馬賊の橫行甚しく、ともすれば吾が朝鮮に其の毒牙を加へんとするヤレ宗社黨の用役ヤレ革命黨の陰謀と多事多端だ從つて內地駐屯の各師團に比し新師團の任務は頗る重且つ大で師團全員擧つて

◆君國の爲めに奮勵

其の實を擧げねばならぬ……新に親授された聯隊旗の授與式は可成早く之れを行ふと云ふ事になつてゐるから軍旗到著せば予は直ちに龍山平壤羅南と各地に出張し一々其の授與をやる、軍旗の授與は畏くも先帝陛下の御時代に先例を作られた通り軍隊の前で之を授與する事になつてゐる(羅南方面は雪解け分頃になるだらうと思ふ)から多分平壤を先にする事となるであらう」將軍の一行は龍山に於て橫井稻垣兩技師其の他及び在鄉軍人の出迎ひを受け定刻南大門驛著盛んな歡迎裡に竹內高級副官と馬車に同乘し儀仗兵に先驅後衛せられつゝ龍山に向つた

# 色めいたる庭球界

## 大會開催 鐵道軍の新選手=京龍軍對戰の新現手=鮮銀對京電=遞信俱樂部對京電對戰如何

京龍に於ける野球も大分高潮に達して來たけれども、チームの數が多いだけに庭球の方も頗る盛んである、京龍を通じてチームの數は尠なくないが先づ有力なものと言へば鮮銀及び鐵道俱樂部を推さなければならぬ鐵道には今一流ともいふべき強い組が七組ある外に競技に加はり得る組が十二三組、何時でも來いといつた樣に揃つてゐる、その巧拙はさて置き、曲りなりにも競技に加はり得る程度の者がザッと四十人此外にラケットを揮つて列ね廻る人も數へると六七十人にもならうか、いづれにしても優勢である、同俱樂部の庭球部には矢野、井田、中川(久吉)、大內、林原、大塚君などが選手で田中、高橋君などが幹事として萬端の世話を燒いてゐる、此の內中川久吉君は今度新に鐵道に入つた早稻田の商科出身で多士濟々の庭球部に於いて旣に嶄然頭角を現はしてゐる選手だ、此の他に選手といふ程ではないが同所のテニスコートを覗いて見て熱心だと思ふのは田中君、中川(新一)君、それに工場長の黑澤君などで、昨年邊りに比べて大分選手の入替りはあつたがそれでも優勢のものだ、練習に最も熱心なのも鐵道で常に京龍を風靡しなければ已まぬ樣な意氣を示してゐるのは即ち此處だと思はせる

野球部と呼應して庭球部でも來る月上旬邊り春季大會を開く計畫だとの事である、鐵道に次いでは朝鮮銀行、京城電氣會社だが昨今どうしたものか兩者共に二三年程香はない樣な傾きがある、然し朝鮮銀行では野村君の幹事で二十名ばかりの庭球部がある、一時京城で雄名を謳はれた熊丸君が除隊になつて來たので、此の春は多少振興するかも知れぬ、京城電氣の方は昨年以來社員の異動が頻々として行はれたので庭球部も殆んど支離滅裂になつてしまつた、それでも今日全く庭球を口にする者がなくなつたといふのではない今でも熱心家は暇を作つては練習してゐる、兩社ともに練習の時間が十分にないので氣勢が揚らないのは已を得ぬ事だらうと思ふ、此の外に東洋協會專門學校の生徒、日出學校職員から成る日出俱樂部は目下自然消滅の姿になつてゐるが之は日出學校の運動場にあつたコートがなくなつたのに原因するが此の組の一味徒黨は何時でも割合されるらしい、次ぎに遞信俱樂部、總督府、軍司令部にもあるが先づ此の中では遞信俱樂部が一番確かだ、是等の京城黨は此の春は一致して龍山軍、即ち鐵道と競技したい希望を有してゐる、或は之が實現する日は遠くあるまいとも思はれる、京城側同志では昨年京電と遞信俱樂部が勝負なし、鮮銀と京電が京電の敗になつてゐるので早晚是等の試合が見れるかも知れぬ、兎に角次第に活氣を帶びてくるのは喜ばしい事だ

## ◎新聯隊旗 廿日朝對馬丸にて渡鮮

新設朝鮮師團各聯隊へ御親授相成りたる聯隊旗七旒は旗手七名及び下士二十八名に警衞され二十日朝下關著直ちに關釜連絡船對馬丸にて渡鮮の途に就けり(門司特電)

## ◎大阪府立農學校燒く

二十日午前大阪府立農學校より出火し教室四棟燒失せり損害高六萬圓原因取調中(大阪特電)

## ◎浮れた提灯男

熊本縣菊池郡砦村生れ當時京城永樂町二丁目梅津方雇人木村一人(二八)は三月中旬頃より梅津方に雇はれ提灯及び傘等の張替新調又は注文取り集金等に從事中四月一日より十四日迄に京城煙草商組合外五箇所より取立てたる提灯代三圓二十錢を橫領し酒食に消費して浮れ步いた爲め本町署に引致さる

## ◎電車に觸れて卒倒す

二十日午後零時半頃京城電氣株式會社の六十四號電車が光熙門より黃金町四つ角停留場に向け進行中黃金町四丁目停留場附近に差蒐りたる際年

## ◎翠川事件は不起訴

故翠川代議士の死期に關する與黨側の告訴は不起訴となり翠川氏の嗣子より誣告の訴訟を提起せり(東京電報)

## ◎問題は藝妓の花代

京城料理屋組合の總會京城料理屋組合にては十八日午後二時より千代本に於て春季總會を開會し從來毎月一圓宛支出し居たる組合費を一圓五十錢宛と改め且つ事務所費用に充當せしめ過剩ありたる場合は積立金とすることゝ、藝妓の花代に就て若干の値上げをなし其の筋に認可の申請をなすことゝ並に昨年共進會當時京城に於て開催したる全國料理屋業者大會の際內地より出席した同業者に對し答禮の意味にて來月中山梨縣甲府市にて開會の全國料理屋業者大會に京城より一名出席をなすことに就き委員を選擧したる所組合取締鍋道樂主澤田氏當選したり

## ◎失火罪のお灸

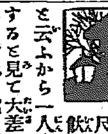
三月一日夜京城若草町の大火火元なる荒木勇次郎は失火罪として罰金八十圓又旭町五十圓又旭町二度目の火災失火者なる大工嶋樺島深內綠の妻原田もいは罰金四十圓等何れも此程京城地方法院にて申渡されたり

## ◎乘馬會の遠乘

京城乘馬會は二十三日齊王陵に遠乘を試み三十日は訓練院側なる新馬術練習所にて春期試乘會を催す由

## ◎愛婦送別會

愛國婦人會朝鮮本部にては二十日午後二時より檜垣夫人を京城ホテルに招待送別會を催せり、同會役員並に會員有志等多數出席せり





此頃京城の水道では一日平均卅四、五萬立方尺の配水をして居るが飲用者は八萬人內外だと云ふから一人當り四立方尺を使用すると見て大差はない譯だ▲所で京城市中最も多く水道水を使ふのは南大門停車場の機關庫で一日の量が一萬立方尺毎月七百二十圓の水代を拂ふと云ふ▲其次が鐵道ホテルで一日に四千三百立方尺水代月々三百圓も少なくない▲多さうに見えて少ないのは龍山兵營で毎日四千立方尺、水代は半額だから百五十圓內外になる▲四番目が昌德宮の千六百立方尺と云ふ順でそれから料理屋湯屋宿屋となればズット減つて了ふ

---

◎平北の記念植樹 四月三日記念植樹を行ふ筈なりし平安北道廳にては天候の都合に依り延期……十名は午前十一時の振鈴にて其々定めの位置に著き同亭の裾より一齊に植え始めたるが苗木總數一千五百……隊……下士卒は近く內地歸還の筈なれば記念の爲め公園入口に高さ約三間の銀杏樹を植え在鄉軍人分會は義州神社境內に櫻及び檜三百本を植付……にて當日の記念植樹は……

◎危い處を救はる 長崎縣北高來郡小永村生れの中村萬次郎島根縣周吉郡西野村生れ三好壽……生きたる心地もせず救ひを求めたる折柄附近航行中の朝鮮汽船襄陽丸が見付けて近か寄り三人の乘組員だけ……

◎神戸製肥工場火災 十九日夜神戸市有馬製肥工場より出火せるが損害五萬圓の見込みなり原因取調中(大阪特電)

釜山入港新羅丸一二等客(一等四名)清水榮三、新宮直吉、錦保之助、笠島陽三、西村道彥(二等四十一名)汪彥三、田中たみ、同寅作、堤朝完、同りよ、同宗磨、安川伊吉、山本きわ、山川すえ、川端繁太郎、小島半十郎、……河本正藏、山口藤藏、同みか、中木……

十九日午後釜山入港壹岐丸一二等客(一等二十一名)佐見みつ、立花小一郎、竹內正虎、山川勝一、……山貫三郎、日置紅三郎、吉田英三、福永勝治、柳英一郎、小西傳太郎、……此右エ門、平林庄太郎、長沼茨夫、末廣久雄、外人七名(二等十四名)野坂ます、同吉忠、竹內……

天氣 晴一時曇り 四月廿一日

---

▲正誤 四月廿日發行京城日報朝刊第二面唐川吳服店春衣大賣出し廣告中「二月廿二日より」とあるは「四月廿二日より同廿六日迄」の誤り

近江入各位に告ぐ
今般近江入會春季總會左記の通り開催可致候間萬障御繰合せ御來會相成度候
一日時 來る四月二十六日午後六時
一會場 南山町千代本
一會費 金貳圓五拾錢(當日御持參の事)
追て出席の御方は來る廿四日中に到著致候樣南大門通二丁目共益社內本會事務所宛御申込被下度候
大正五年四月廿日 近江入會幹事

自動車運轉手
は今や內外の需要極めて多く各地に於て熟練なる運轉手を望む士は直に申込むべし
東京市京橋區南鍋屋町 發動機協會

製材機械原動機 其他一切付丸鋸共
賃貸又は割安賣却
鑛山機械專門製作
南大門通五丁目 電話一〇〇三番 中根商會

帽子○莫大小○肌衣○沓下○中股○綿縮肌衣○其他和洋雜貨各種有之候

金時足袋發賣元
夏物荷揃
卸問屋 坂田支店
仁川新町電話一九一番○振替京城二六七番

晒○色裏地○木綿○タオル○手拭○半巾布○地下足袋各種○草履○スリッパ○地方御取引は精々御便宜御取計申候

醇良清酒
大阪府堺市 釀造發賣元 肥塚源次郎
京城本町二丁目 特約販賣店 佐藤牧太郎
同 本町三丁目 特約販賣店 明治屋支店

子供の一番好きなものは
日本幼年
お菓子や玩具に限りません。日本幼年は目も覺むるばかりの美しい繪と、面白くて、面白くて堪らないお噺とを全部極彩色石版刷にした、愛らしい教育的な繪雜誌です、お菓子は食べるとなくなります、玩具はすぐに壞れてしまひます、日本幼年は永久に保ちます上等で、製本が堅牢ですから、永く保ちます
三歲から十歲までの子供は、お菓子や、玩具よりも日本幼年を好みます
□五月號 東京 東京社

熱心誠實に事務を取扱ふ
辯護士 從五位 堀池常作
事務所 大邱府南城町

醫學士竹中繁之助君著
結婚と安産
この書は婦人一生の大事たる結婚から妊娠、安産、産褥、胎教のこと迄詳しく述べて産後の攝生に及び、特に生理解剖の事など詳密に書いてあります。是れ著者が多年研學して得たる實驗を基として丁寧親切に教へてあります。結婚をなさる人、結婚をなすつた人、男女共に座右缺くべからざる良書であります。
母の道と育兒
この書には生兒の營養、發育、衛生、疾病の四項を設け、先づ母乳、乳母乳、牛乳等の事を述べ、乳の哺ませ方、消化、乳房の病、其他食餌、體溫、身長、體重、運動、沐浴、睡眠等が事細かに述べて解說し、就中病源急法及び豫防法、病後の看護等に一々注意を與へて解說し、別に傳染病法規を附錄としてあります。
東京 博文館 本町

材木商
京城府岡崎町 須川商店 電話(龍山)四三四番
樫、欅、朴、桂、杉、松、椹、鴨綠江材、各種

熊平謄寫版
登錄商標 製造發賣元
京城本町二丁目 熊平支店
長距離電話京城六三四番 振替京城二二二番

開店披露の爲め當分大勉強仕候
料理「人は特に北京より呼び寄せ四月十八日より開店仕候間何卒御引立の程願上候」
出前「は遠近に不拘電話六百三十三番へ御申付け被下候へは早速御屆け申上べく候」
宴會「は五人以上卅人迄!!特等金廿五圓上等十六圓二等十四圓三等十二圓四等十圓五等八圓等如何樣とも御用命に可應候小人數は一圓二圓三圓席は最も便利に候」
△支那料理開店
京城觀水洞(水標橋北半丁)
中華御料理 大觀園 電話六三三番

……剩へ烈風吹き荒びたるに拘はらず……に集せる日鮮官民の主なるもの……れたる丘上の幔幕の中に集合し此處にて茶菓の饗應ありたり又義州守備隊……が猪公園には高さ五間乃至……二百本を植栽す可く其後毎日牛車にて運搬し居れり……で漁業せんとしたる……の自由を失ひて如何ともする……

# 憾の將軍 革命軍に寢首を刎ねらる

支那の雲貴討伐軍の司令官中で二人の師團長が死んだ、併し二人とも戰死であつたか刺客の手に斃れたか未だ其の死因が判明しない其の中の張敬堯と云ふ師團長は討伐軍中での勇將であつたから之れは多分戰死と見ても可い他の一人の

■第一軍司令官 馬繼增と云ふ中將は平生から餘り大した人でなかつたから其死因に就ても大分不審な點が多かつた當時北京政府でも此中將の死因は秘密にして居たが今度其の評判が高くなつて居たから益々死因が革命黨側から端なくも發表せられた其の異相によると馬中將は六千の兵を率ゐて湖南の各所に轉戰し本年二月中同省の長州に進軍して同市に宿營を張つた中將は

■同市第一富豪 陳子源の家に宿營するや主人は有難迷惑ながら御機嫌を損じて迫害を受ける樣な事があつてはと山海の珍味を盛つて只管歡待に努め興を添ふる爲愛妾季娘を出してもてなさした抑も此の季娘と云ふのは芳紀正に十八歳同市第一の名高い美人であつた馬中將の心は忽ち動いて終には

■暴力を振つて 落花狼藉の振舞に及び爾來左右に侍らして居た之を見た主人陳氏の憤りは一と通りではなく何うかして此の敵を討ちたいけれど相手は將軍此方は商人であるから思ふ樣に出來ない其處で大決心をして密に湖南地方に出沒する革命軍に通じた革軍側では大喜びで人馬三千陳氏の手引で寒月既に沉んで朝風霜を吹く眞夜中

■中將の宿營地 に接近した酒に心を奪はれ美人を擁して眠つて居た馬中將は忽ち其の首を敵手に奪はれた此の敵き打ちが端なくも湖南の革命を煽つて到る處革命の旗が飜へる樣になつたのは事實である三國史か水滸傳中の一節にでもあり相な話で支那でなければ見られぬ圖だ（北京通信）

# 京城醫學專門學校開校式

朝鮮總督府醫院附屬醫學講習所は去る四月一日より京城醫學專門學校に昇格し廿日午前十時より開校式を擧行した

▲此日寺内總督 は森武官、大藤副官を隨えて臨場し來賓には井口軍司令官、宇佐美長官、古海警務總長、鈴木局長、松永道長官、佐藤博士、水越鮮銀理事、豐永工業專門學校長、吾孫子專修學校長、柴崎京城中學校長、皮田女學校長、李完用伯、趙重應子、金李王職事務官、セベランス病院外人醫師其他京城刀圭界の人々學生父兄の出席ありて大講堂内に溢るゝばかりの參列者であつた、斯くて式は

▲君が代の唱歌 に始まり校長芳賀軍醫總監の勅語捧讀を了るや寺内總督は起ちて告辭を朗讀し猶ほ朝鮮人側より子爵趙重應氏の祝辭あり次いで京城醫會長村上龍藏氏の祝辭朗讀と芳賀校長の答辭朗讀ありて此の日の式を終つた、猶ほ學校の

▲全生徒現在數 は二百五十一名、中本年の新入學生は内地人二十五名、朝鮮人五十名合計七十五名である、また本年度から新募集の内地人學生は京城中學卒業生の中にて無試驗入學を許可した者十三名他は皆内地の各地から入學した者で出身縣別にすると福岡の四人、山口、長崎、福井、東京の各二人が多く他は皆一縣一人宛位となる

京城醫學專門學校開校式

## 裁判だより

■控訴して減刑 [illegible]

■小爲券を竊んで 京[illegible]（二六）は三月卅一日[illegible]龍山大島町飲食店[illegible]方にて[illegible]の所有なる金十圓の小爲替券一枚外雜品數點を竊取したる爲め四月四日公州地方法院清州支廳にて懲役兩箇月の判決となりたるを不服とし京城覆審法院に控訴したる所十九日控訴棄却さなりたり

■窃盜犯控訴棄却 [illegible]（二三）が大正四年七月より同年十二月下旬迄の間に繼續的に[illegible]驛の線路官舍[illegible]箇所に侵入して現金[illegible]外に[illegible]を窃取したる事件は水原支廳に於て懲役十箇月の處分となりたるを不服とし京城覆審法院に控訴したるも十九日控訴棄却となりたり

■百九十圓の橫領 [illegible]（三一）は昨年十一月十七日[illegible]より其の所有の[illegible]一棟の[illegible]として六百圓の借入方を委託せられ八百[illegible]

■詐欺は執行猶豫 [illegible]

■[illegible]

## 草花の作り方

□草花に美しい花を咲かせやうとすれば肥料と灌水とに與かるところが多いのです、種を蒔く時細末にした油糟を下敷にしてその上へ蒔く人もありますが宜しくないのです

□油糟が醱酵する爲めに種は死んで仕舞ひます、だから肥料は後で施した方が好いのです、油糟を一升に水四五升を和して瓶か壺に入れ日當りの好い場所へ置き、二三日を經てからを待ち水を倍位に調合してかけるが好いのです、濃い肥料よりは薄い肥料を度々かけるが適して居ります

□水かけの加減がこれ又厄介千萬なものであります、無茶に水をやるのは可けないのです、一週間も雨がない節は小量の水を切藁の上から女露でかければ結構です

□播種してから約一週か二週かを經過すると發芽します、その時は早く上に被せてある切藁を取らねば草花のもやしが出來ます、要するに肥料と灌水とを充分に注意しないと美しい花を見るとは出來ないのであります

## ▲團昇の初日

浪花節に開演の大阪女義太夫界の立物竹本團昇は竹本伊達若、竹本團長等の一行は二十日乘込みたるが二十日初日を一日延期し二十一日華々しく町廻りの上同夜より開演すべく義太夫として越路以來始めての大物なれば定めし大喝采を博すべし

▲大正館 來る二十一日より特別寫眞と番替へたり主なるもの左の如し
▲寶玉ばらの花▲滑稽じやがたらと媼子▲寶劍胸の蝶母▲泰西活劇金剛全三卷四千呎▲新派悲劇うかね袖全三卷二十八場▲舊劇靈口武勇傳全三卷七十五場

▲壽座 新派改良劇三輪一行

▲壽舘 三遊亭一圓遊一行の落語

台所その日 ■餅の味噌漬 餅を適宜に切り白味噌を摺り、味淋四分酒六分にてドロ〳〵に緩めた中に一時間ばかり漬し、味噌を好く拭き取つて金串を打つて燒く

# 商況

## 東京株式特電

二十日前場寄付 大引

| | 前場寄付 | 大引 |
|---|---|---|
| 日本郵船 | 一六一、八〇 | 一六一、二〇 |
| 東京株式 | 一三八、七〇 | 一三八、六〇 |
| [illegible] | [illegible] | [illegible] |

## 債券現物特電

[illegible]

## 公債直取引

[illegible]

## 深川在米特電

[illegible]

## 東京期米特電

[illegible]

## 大阪期米特電

[illegible]

## 大阪株式特電

[illegible]

## 大阪三品特電

[illegible]

## 下關期米特電

[illegible]

## 朝鮮物産特電

| | |
|---|---|
| 馬山改良 | [illegible] |
| 釜山改良 | [illegible] |
| 群山改良 | [illegible] |
| 木浦改良 | [illegible] |
| 仁川改良 | [illegible] |
| 鎭南浦改良 | [illegible] |
| 京城上白 | [illegible] |
| 仁川白 | [illegible] |
| 慶北大豆 | [illegible] |
| 元山大豆 | [illegible] |
| 仁川大豆 | [illegible] |
| 平壤大豆 | [illegible] |
| 木浦大豆 | [illegible] |

## 雜報

●石油は持合也 石油の需要は昨今稍減退の傾向あり瓦斯の市況は幾分軟調を免れざるが米貨の如きはチヤス本艦印の… [illegible]

●牛皮の其後 [illegible]

●一二三圓方漏 [illegible]

●聯絡通 [illegible]

●金巾類稍腰強し 大阪の綿布相場は十九日の入電十錢方高く… [illegible] 百二十七八圓を底として… 百二十圓内輸

●平板引弛む [illegible] 聲絶 [illegible] 又々三錢方低落

●全北地方の麥作 [illegible] 本年の麥作は良好なるべし

●蒟蒻粉の近況 [illegible]

●片栗粉頭打 [illegible] 纏り口八圓五十錢見當

## 下關相場

[illegible]

## 三巳仲買店

仁川米豆取引所仲買人 海岸町三丁目 電話[illegible]

## 各地商況

▲木浦（十八日の穀物） [illegible]

## 京城正米

[illegible]

## 南大門の廻穀

[illegible]

## 京城雜穀

[illegible] 約十錢高 買惱み商狀

## 仁川現物市場

[illegible]

## 行賀仲買店

仁川海岸町 電話[illegible]

## 生魚市場

昨今の入荷は少なき方なるも漸々近づきつゝある事なれば遠からず活況を見るに至るべし十九日の市場の平均相場左の如し [illegible]

## 釜山穀物市場

▲正米（[illegible]）賣り物は相場にあれども出口には依然不引合の事とて[illegible]
▲大豆 賣り物少なく氣配は保合なれども賣買取組出來申さず

## 仁川期米

[illegible]

## 市場雰聞

▲前場跳ね返す [illegible]
▲依然保合ひ [illegible]
▲二十日前場 [illegible] 一二錢安の入電
▲高移 [illegible] 利食一巡と
▲共に [illegible]
▲氏强き成行 [illegible]
▲上位に保ち [illegible] 頗る割
▲悪 [illegible] 今佃正米より割安感 [illegible]
▲變動期近づく [illegible] 依然見送り大手筋に勢稍轉換の形

## 仁川米豆取引所

二十日の六月限

| 前場 | |
|---|---|
| 寄付 | 十一圓十九錢 |
| 止 | 十一圓十九錢 |
| 高値 | 十一圓二十錢 |
| 安値 | 十一圓十七錢 |
| 止 | 十一圓十五錢 |

| 平均値段 | |
|---|---|
| 一節 | 十一圓十九錢 |
| 二節 | 十一圓十八錢 |
| 三節 | 十一圓十九錢 |
| 四節 | 十一圓十八錢 |
| 五節 | 十一圓十九錢 |

賣買取組高
四月限 五十石
五月限 八千九百石
六月限 四萬二千六百五十石
出來値比較

十九日後場 前日と比較
一二一 八商
一二一 五高
一二四 五商
一二五〇 七商

小賣白米
上白米 十四錢
中白米 十三錢五厘
[illegible]


田中大全 [illegible] 電話 一六二八 一五二

目學メ藥（めぐすり）

大學目薬は帝國醫科大學醫院の處方に基きし貴重の製劑にして●はやり目●星目●トラホーム●のぼせ目●疲目其外眼病一切に驚くべき効能あり●十歳以下の小兒の爲別に小兒用大學目藥あり

大阪北濱壹丁目 參天堂藥房

「内外各處に賞用せられ効能最も卓越せるは本劑なり」

消毒兼化粧用 アルボース石鹼

資本金 貳千百五拾萬圓
積立金 九百參拾五萬圓
株式會社 第一銀行京城支店
京城本町二丁目（振替貯金京城一一番）
頭取 男爵 澁澤榮一
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
内地朝鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候

京城永樂町二丁目（商品陳列舘裏門通）
酒井婦人病院
入院隨意 電話二六〇〇番

花平 灯平 太平通大夜市
◎來二十三日夜より開催
◎露店希望者は申込あれ
▲どなたでも出店隨意、金のもうけ次第
多田不動產信託所内
太平通二 太平通大夜市事務所 電話二二二一番

大日本優等清酒 ハクツル
品質純良 衞生無害
釀造元 攝津灘御影町 嘉納合名會社
發賣元 京城本町二丁目廿番地 前田酒店 電話一三七番 振替口座四二五番

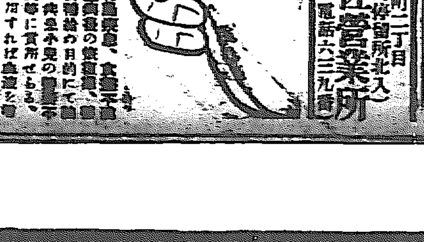
内科 小兒科 芙蓉醫院
京城本町二丁目（瓦斯會社向側）
醫學士 森定吉 電話二六二三番


故昌子並に徹儀來る廿二日午後正五時寺町本願寺に於て神葬式相營み可申候間此段辱知諸君に謹告仕候
四月二十日
父 川畑作進
兄 川畑勇
親族總代 田島輔
大津武之三
友人 淺井弥太郎
川井田益
川島唯雄

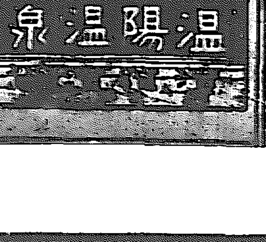

滋養 親玉 玄米乳 朝夕飮 製造所 大邱錦町一丁目 山下商店（電話三二九）

瀨戶皮膚科外科醫院
旭町二丁目（舊三丁目）
醫學士 瀨戶潔
（電話二四九八番）
診察夜九時まで

M EP 名泉大當 牌皮頭 コタマ

胃腸最新藥 チゲスチン

[illegible]

質 京城黃金町二丁目（永樂町停留所北入）
堀佐營業所（電話六二九番）

閑靜にして避暑避寒に宜し




▲連絡船上陸客 十九日午前 [illegible]

▲解警戒（四月二十日午前九時三十分發） 北部及び中部南西部の警戒を解く

[illegible]

# 宮本武藏

第十四回

桃川如燕口演 浪上義三郎速記

宮本は駕籠屋の容體どうも凡人ではあるまいと考へながら駕籠へ乗る、男「モシ／＼旦那、草鞋を穿いた儘で乗ちやア不可ねへ、草鞋を脱いで乗んなせへ」武「仔細あつて此草鞋は脱く事は出來ぬ、洗濯賃を出せば宜らう」男「夫は洗濯をすりやア宜しいが、困つた人もあるもんだ」兩方で擔いで居る、駕籠の棒を肩へ當てるとウンと力を入れて引擔いてスタ／＼歩き出した、其力量は大したもの、ドツコイサといつて肩を代へると今度は駕籠が前に往つて石が後ろになる、其危險な事といつたら一通りでない一つ繕がれば谷の中へ落ちるやうな所を平氣で往くから武「コレコレ駕籠屋、何うも危ないではないか一つ肩を外したら谷へ落ちなければならない」男「默つて居なせへ年中稼業にして居る俺だ、谷へ落ちるやうな事はしねへ、假令落ちた所で此位ゐな谷なら命に別條はなからう」といつたが見下せば數丈もあらうといふ谷底、溪流の音が轟々として居る宮本先生も驚いた、命に別條がない所ではない、身體微塵に碎けて終ふ其中に日はトップリと暮れて木々の梢を渡る秋風、時求むる鳥の聲も淋しく、居待の月は隈なく冴渡り、往來の絶えたる箱根の山中、男「サア旦那飛んだ事が出來た」武「何だ」男「此先に關所がある、暮六つを打つと關所の木戸が締まつて通れねへ」武「其はどうも困つたな、外に通れる路はないか」男「外に路がある位なら關所は這入りやアしねへ、どうも仕方がねへから旦那今夜一晩野宿をして下せへ」武「野宿をする其は驚いたな、此方はまだ野宿をした事はない」男「其はさうでございませう、けれども野宿だつて馴れて見れば辛いもんぢやない詰句旅宿へ泊るより氣樂なもんでございます、月は宜し山の中だから四邊は靜かだし申分のない所で、まア駕籠の中で一休み／＼休みなすつて下せへ、俺は此の木の根を枕にして一寝入りしますから」呑氣な男で駕籠を岩の間へ入れて、自分は前の木の根を枕にして、コロリと横になつて終ふ武「コレ／＼此樣な所へ駕籠を入れては困るではないか、最少し先方へ持て行つて呉れ」男「贅澤を言はずに辛抱してお居でなせへ、其中に夜が明るから」夜の明るまで岩の上に置かれては堪らない、駕籠舁はグウー／＼鼾聲をかいて寢て終ふ、武藏は寢られない、之は道理で小笠原の家老三千石の宮本の御子息野宿なぞは生れて初めていくら膽力があつても之は別だ、仕方がないから膝を抱へて駕籠の後へ踞つて眼を半眼に閉ぢて居るとゴーッといふ風の音につれて何處からともなくウオーッといふ獸の聲がする、宮本先生油斷がないから眼を開いて四邊を見廻して居るとガサ／＼と落葉を踏分けて狼が一匹出て來た 武「イヤー狼が出て來た」狼の奴はノツ／＼駕籠舁の傍へ近付いてケン／＼鼻で嗅ひを嗅ぎ初めた、駕籠の中で武藏さては駕籠屋を喰ふか知ら、打捨つて呉れやうと柄に手を懸けて居る所に喰ひもしない、今度は武藏の方へ來て駕籠の中へ首を突込んでクン／＼嗅初めた、武藏堪らんから柄に手を懸け拔打にスパーリ叩斬つたキヤン／＼といつてクル／＼廻りながら狼は其處へ倒れる、聲に目を覺した駕籠屋が 男「ヤー旦那樣」狼を斬んなすつたな 武「喰はうとしたから斬たのだ」男「喰やアしない、狼だ振りをして居ればよかつたものを飛だ事をしなすつた、今に敵打たといつて大勢來るだらう、ア、來た／＼」と云ふ中に又横合から一匹の狼が飛出して來て斬られた狼の血をペロ／＼甜めて居たが二人の樣子を見て其れへ向つて來た、武藏又一刀の下に斬つて落す、キヤンといふ聲を擧げて倒れる、其聲を聞くと何處から出て來たか大層狼が出て來た 男「其れ御覧なさい大變な事になつた、何しろ襷をかけ鉢巻でもして支度をなさい」と駕籠屋の男は困つて居る、彼是する中に三四十疋の狼が武藏の周圍を取捲いてウオー／＼と聲を擧げ、代り代り飛付いて來る

朝鮮唯一のラヂユーム温泉は 東萊温泉場 (釜山鎭より電車あり) 清遊の唯一は 蓬萊館 釜山より電車四十分

皮膚科 皮膚病 黴毒病 泌尿器病 生殖器 機能障碍 入院隨意（診察夜九時迄） 日曜祭日午後二時迄 京城明治町二丁目（司令部前） 佐藤醫院 (電話一一七三番)

婦人科 産科 京城壽町四一 醫學士 二宮亮吉 電話一三〇一番 二宮醫院

四月二十二日九星 舊三月廿日 己丑 本命二黒 坤納 佛滅

▲二黒・不運の事多き日新事見合東方は吉 暗劍坤 ▲三碧・悦氣のさす事有日新事手控へ [illegible] ▲四綠・はんまな事有日新事手控へ常業は妨なし ▲五黄・押貸主義の事は吉一切のせわ事を禁ず ▲六白・大治の日新事手控へ [illegible] 新取引は用心の事 ▲七赤・商賣繁昌の日 [illegible] ▲八白・大吞込の事有日新事手控へ [illegible] ▲九紫・思の通る日 [illegible] ▲一白・[illegible]

## 演藝案内

◎大正館 櫻井町 電話八七三 四月二十一日より特別大寫眞提供 [illegible]

◎三十三間堂 第三プロテアは四月廿一日限り日延なし 黄金館 電話二六三七番

大好評 不拘晴雨 毎夜正七時札止 連夜滿員

御成座 電話一九一 [illegible]

黄金館 黄金町四丁目 電話二六三七 [illegible]

壽館 壽町 電話一〇五〇 [illegible]

浪花館 明治町 電話二六〇番 ◎大阪女義太夫本家 竹本團昇 竹本伊達若 合同大一座來る ▲御祝儀（竹本入登）▲二十四孝四段目十種香の段（竹本達昇）▲梅野由兵衛聚樂町の段（竹本伊達春）▲御所櫻三段目辨慶上使の段（竹本長花）▲朝顔日記四段目宿屋の段（竹本昇六）▲太閤記十段目尼ケ崎の段（竹本長春）▲菅原四段目寺子屋の段（竹本團昇） 晴雨に不拘毎夜六時開演

壽座 本町 電話五七八 ▲改正義團一行 四月二十一日藝題 [illegible]

# 此記事の中に婦人方に是非必要なものがかくれて居ます―――何でせう？

## 近頃

皆樣が市中をお歩きになると、お化粧もしてゐないのに不思議にお顔の美しい方々をお見かけになりませう、そして其のお顔が唯の美しさではなく、如何にも晴々こ、鮮かに水際立つて、此上なく品がよく美しいので思はず見惚れるやうな事がお在りでせう。それからッと

## 昨日まで

險しい方ではなかつたお友達が今日はまた不思議に活々こした艶のある美しいお顔をして被居るので、ハテ○○子さん何うして急に生變つたやうにおなんなすつたのだらうこ、不審に思召すやうな事もよく／＼お在りでせう。このお化粧もなさらずに不思議に美しい方々こそ

## 朝

使へば一日中顔色を活々こ美しく保つこいふ珍しい作用のある新化粧液美顔ユーマーをお用ひになつたので、ツマリ逸早く最近の美容法に就ての學者の研究品を信じてお用ひになつた方々なのです。何故こ申せばこの美顔ユーマーこそ、美顔白粉を發明して

## 名譽

を擧げた桃谷研究試驗部の學者が、何卒して凡ての婦人のお望に適ふ新しい化粧液を創製し度いものこ、研究に研究を重ねて漸こ出來上つた、如何にも美しい氣持のよい液で、最初の研究の目的通り、此美しい液をお顔へおつけになれば、此美しい液が其儘顔の色艶こなつて

## 現れる

さいふ不思議の作用を持つてゐる點

## 今一つ

これは是非お試し願度いのですが、美顔ユーマーを白粉の溶水に使へば不思議に白粉のノリノビが良くなりこんな白粉のツキの惡い方でも、お化粧が綺麗に而て手早く出來、殊に白粉に得も言へぬ美しい艶を添へますので、それは／＼ホントウに美しいお化粧が出來ます。現に今朝使へば一日中顔色を活々こ美しく保つのですが、殊に此液に先に桃谷研究試驗部で發見した垢ヌケする成分を多量含んでゐますから、顔を洗て使へば段々こ垢ヌケして顔の生地までも美しくなり、次に荒れを防ぐ新成分の力で、どんな寒さにも顔の荒れる事がありません。それから

## 東京

一の美顔術大家、各宮家御用マリ・ルウキズ孃は、美顔白粉の創製以來深く桃谷研究部を御信用になつて、何彼こ力を添へられるやうになりましたが、其後美顔ユーマーを御試驗になり、これは成程從來にない珍しい化粧液であるこ御在つて非常にお喜びになり、今では美顔ユーマーは美顔白粉共々宮家の御料に召される光榮を擔つて居りますが、此品の今一つの特長は婦人方ばかりでなく

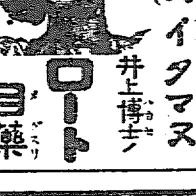
## 男子

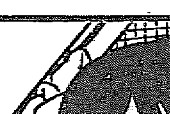
の方々も此液の如何にも附け心地がよいのこ皮膚衛生上の効が優れてゐるのこをお喜びになつて、顔剃後などに用ひて剃刀負けを防ぐ等に盛にご御賞用を賜る事で、實際美顔ユーマーは男子方の皮膚にもよく合つて、男らしい風彩を引立てます。定價は一瓶十八錢、各化粧品店等で販賣して居ります。お試しになればさも必ず満足なされます。」

家傳靈藥 ぢの藥 ●痔疾一切●脱肛●痔瘻等現狀の儘「家傳ぢの藥」で治療する ●病原理由自宅治療法の書冊進呈す ●東京京橋區疊町 小松林盛堂 御買求の際は小松ぢの藥と指命乞ふ

りん病 自宅にて人知れず安全秘密に治療し得る方 良藥あり只一剤を試よ切手三錢送れ 其良藥と自宅療法の詳細を報す 消渇で困る方 多年の病性も 名古屋市南かじや町 武藤鶴吉

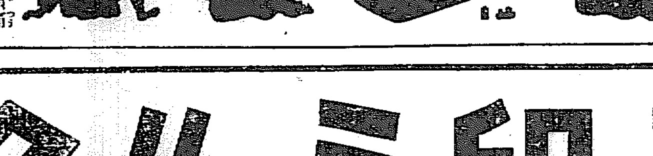
目ニ見ヘテ ズン／＼トキク シユマズイタマヌ 井上博士 ロート目藥





眼病を、不潔い布や指頭で摩るのは目の為に惡いから ロート目藥には消毒した布と、下圖の様な新案の點眼器を添えてある 定價 [illegible] 全國各藥店にあり 本舗 東京 [illegible] 大阪 山田安民藥房

かぜねつに 一番よくきく キナピリン

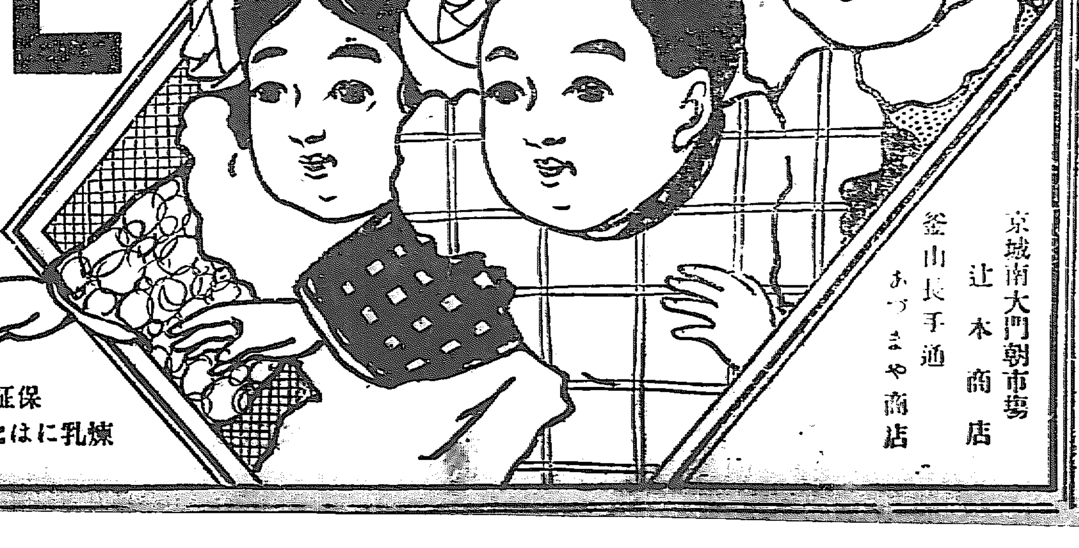



●キナピリンは●感冒●熱病●頭痛●インフルエンザ●リヨウマチス●間歇熱（マラリヤ）等に大効あり 定價 二包入拾錢 五包入廿錢 八包入三十錢 十五包入五十錢 三十二包入壹圓 本舗 大阪堂島 高橋盛大堂 發賣 同心齋橋 高橋盛大堂分店

ヒシ印ミルク 國産煉乳

お子達の健全なる御發育を欲せらるゝお方は必ずこのヒシ印煉乳をお用ひです

滋養豐富にして製品の常に新しきミルクです




保證の出來得る煉乳にはヒシ印の商標あり

京城南大門朝市場 辻本商店 釜山長手通 あづまや商店

汽車時刻 京釜線 湖南線 京義線 京元線 平南線 兼二浦線 [illegible]

京城日報　第三版　(年中無休刊)
廿一日朝刊(夕刊と合せて八頁)

## 化學工業と朝鮮

京城日報

一昨年歐洲大戰役開始以來、獨墺二國は世界國民より閉鎖せられて、復た外國との交通貿易を支持する能はず。二國民の困苦甚だしかる可きは、言を俟たざるところなれども、獨逸の如きは本來化學工業及び機械製造の品の供給者たるを以て之を閉鎖したる結果として、染料並に薬品其他特殊製造品の供給を得る能はずして、列國民亦これが爲めに不便不自由を感ずるを甚だ大なり。是れ近頃に及びて、世界各國を通じて、化學工業器械工業の振興を策せざるものなき所以なり。

夫れ英吉利と曰ひ、北米合衆國と曰ひ、曰く何曰く何と、世間文明富強を以て立つもの、甚だ多きに拘はらず、其染料薬品、其他の供給を得ざるものは即ち不便不自由を感ずるを深く、其救濟を企つるも、容易に其目的を達する能はざるは何の爲めぞ。蓋し其資本足らざるにあらず、其學問技術進まざるにあらずして、一に其平生の準備存せざるが爲めなり。且化學工業の如きは小資本小仕掛なるものに利あり。大資本者大事業家は、寧ろ此に適せざるなり。米國人の資力に富み、企業心盛なるものを以てしても、猶ほ且染料製造業を起すに躊躇する所以のものは、其の大の資本制と相容れざるが爲めなりと云ふを見ても、其大要を知り難からず。

獨逸は近年こそ其富資を以て誇るの状ありと雖も、本來資本は乏しく、天然の富は極めて薄く、農業以外に其の富源を求むべからざる有様なりしは、今猶ほ人の知るところにして、其小資本と學術進歩の効果とを集めて、之を其化學工業に注ぐ。其勤勉力行進みて已まざるや、遂に之に據りて其新面目を開くを得たり。今日世上に喧しきアニリン染料の如きは五十年前英吉利にて發明せるものなり。獨逸人は則ち之を學んで、更に發明改良を加ふること多く、遂に此染料は獨逸の特産物たるの觀を成すに至る。其他巧緻を尚び、奇綺を旨とするの工藝は、皆此小資本もて、勞苦を重ねたるの結果ならざるはなく、ヌーレンベルグ其他の玩具工業の如きは、家々人々の製作にして、世界に標本たるもの、最も小資本小仕掛なるものゝ標本たるべし。

吾人嘗て我朝鮮の如きは、其地形より云はゞ、日本帝國の亞細亞大陸における基礎なり、當面には支那東西伯利亞の間たり、歐亞交通の起端たる地を控ふるあり、正に是れ化學工業器械工業の爲めに天然の良工場なることを論ず。然れども豈獨り地形のみならむや。其事物の甚だ獨逸工業創始時代、若くは瑞西、瑞典、諾威、丁抹等の工業界と酷だ相似たるものあるを以てなり。此半島の工業は、今猶ほ創始時代に屬し、其の資本は甚だ豐かならず。其の天賦の資料亦多しと云ふべからず。其の恃たる所は此れ企業心に富みたる新人物と、勤勉力行能く其業務に堪ふる土著民とあるのみ。即ち是れ小資本小仕掛の事業を、出來得るだけ數多く營造し、其力の盈るに從て進み、之を集めて大成して以て一大工業地たらしむべきの處なり。化學工業の如きは此半島の事業としては、最も適恰の物たらざるべからず。我半島に在るものは勿論、我帝國本土の事業家經濟家、最も此に其心を致さば必ずや其發達進歩を見るべきなり。

## 京城雜筆

山縣生

▲平安南道第二部長吉松憲郎氏其近著「歐洲戰爭と日本の態度」(獨逸文)を惠贈せらる。此冊子は氏が獨逸に留學中戰爭爆發したるに由り、獨逸より英國へ退去し、次で歐洲大陸歷訪の途に上り、一昨年の末より昨年の三月頃迄瑞西チユリツヒに滯在中、歐洲の諸國民が全然日本の態度を諒解せざるを見て、慨然として筆を執られしものにて、チユリツヒにて出版されしが、頗る好評を以て迎へられ、我國が戰爭に參加したる理由漸く敵國人の解する所となり、彼等が我國に對して最初に抱きたる惡感情を除去するに與りて大に力ありしもの也。

▲一昨年の八月十六日我國が獨逸に最後通牒を送るや、獨逸人は實に意外の感に打たれたる也。彼等は我國が猶ほ露國に對して怨を抱くと誤解し、背面より露國を脅かすならんと期待し居りしに、意外にも我國は彼等に對して干戈を執りて立ちたり。彼等は失望し、憤怒し、彼等の新聞紙は我國に對してあらゆる惡口雜言を並べ、惡魔、強盜、黃色の猿の如き、士君子の口にすべからざる言辭を以て我國民を罵り、加之のみならず居留の我同胞を凌辱し、虐待したり。

▲當時獨逸人にしてカイゼルが今猶ほ我國に對する『黃禍』說の主唱者たり、獨逸が又三國干渉の張本なりし事を記憶し、且つ又我國は日英同盟の義に因り、青島を征伐して、獨逸の勢力を東洋より掃蕩すべき義務を負へる事を知り居たらんには、我國が彼等を敵としたるの當然なるを諒したるならん。然も彼等は白人に限りて、利己心強く、自己が惡事は棚にあげて、日本は獨逸より軍事學に於て多大の恩を受けながら、恩人に背くは何事と咆哮したり。

▲獨逸人のみならず、中立の瑞西に於てすら我國を誤解する者多く、チユリツヒ市の如きは獨逸語の使用せらるゝ所とて、自然獨逸に同情し、開戰當時暴民の日本名譽領事館を襲ひて投石したる事實あり。又瑞西に於ける日本商品に對する人氣落ち、貿行頓に減少したるの事實もありしなり。

▲事情斯の如きものありし際吉松氏が健筆を揮ふて、公明正大なる日本の立場を明にし、三國の干渉、獨逸の膠州灣租借、日露戰爭當時に於ける獨逸の責務、英國に對する日本の態度等を說き、以て敵國人及び中立國人の蒙を啓きたるは實に機宜に適し、我國の利益の爲めに些少ならざる功を立てたるものといふべく、吾人は深く氏の勞に對して感謝せざるべからず。

▲近頃獨逸の我國に對する態度は猶ほ交戰狀態に在るにも拘はらず、比較的善良なるが如し。其新聞雜誌に現はるゝ言論は我國を賞讚し、寧ろ我國を惡罵する事なく、殊に我國の獨逸の俘虜を遇するの義俠にして文明なるを德とし、戰後は我國と握手することを希望するの意志すらあるを示せり。斯の如きは頗る慶祝すべく、吉松氏の論文が獨逸の輿論を改善するに多少の力ありしは疑ひなし。

▲西洋人の我國の事情を知らざるの甚しきは實に懲くべく、記者の如きは其餘りに甚しきに呆然たらざるを得ざる事屢々あり。我國に對する誤解を去り、我眞相を知らしむるは、我國の利益を增進する所以。記者は吉松氏の論文の如きが今後我學者の手に由りて、英佛獨其他の外國語を以て續々著述さるゝことを切望す。

## (十二)文武

### 文道武道

東拓理事　村田俊彦

(40)

更に前に國防費のことを述べたり。少しく進んで文武てふことにつき語らんと欲す。抑も文と云ひ武と稱し此等兩者の作用が相反するの觀あるより、人往々其道にかても全く東西千里相距るが如き考を抱く。然れども文武の道は一にして二なきなり。唯其現はるゝ道は全く同じくして、其源泉たるところの形異なるのみ。道の常道ならざる道、虛明正覺の性が萬物を貫き、滿て宇宙に溢れ、凝ては秋毫に隱れ、文にも武にも勿論、相通ずるのみならず、道亦文にも武にも全く其根を一にして、相逢ふこと無きなり。中江藤樹先生の文武問答を請むに、中に之に就き云へることあり、左に之を錄せむ。

問て曰く、文武は車の兩輪、鳥の兩翼の如しと申ならはし候得ば、文と武とは二色にて御座候や、又如何樣なるものを文武とは申候や、師の曰、文と武と世俗は大なる心得そこなひに候、世俗は歌をよみ詩をつくり、文筆に達し氣立ものゝ柔かに花車なるを、文といひ、弓馬兵法軍法をならひ、しり氣だて猛くいかつなるを、武といひならはせり、皆似たる事の似ぬ事にて候、元來文武は一德にして各別なるものにてはなく候、天地の造化一氣にして陰陽の差別ある如く、人性の威靈一德にして文武の差別あれば、武なき文は眞實の文にあらず、文なき武は眞實の武にあらず、陰は陽の根となり、陽は陰の根となる如く、文は武の根となり、武は文の根となり、天を經とし地を緯として、天下國家を善く治めて、五倫の道を正うするを文と云、天命を恐れず、惡逆無道のものありて文道を妨ぐる時は、或は刑罰にて懲し、或は軍を起し、征伐し、天下一統の治をなすを武と云ふ、しかる故に戈を止むといふ二字をあはせて武の字をつくり、文道を行はんための武道なれば、武道の根は文なり、武道の威をもちひて治むる文道なれば、文道の根は武なり、其外萬事に文武の二は離れざるものなり、孝悌忠信の道を正しくおこなふは文なり、孝悌忠信のさはりと成ものを退治してつとめおこなふは武なり、譬ば春夏の陽ばかりにて秋冬の陰なく、秋冬の陰ばかりにて春夏の陽なければ、萬物を生成する造化成就する事なし、陰陽二氣差別ありといへども、本來同じく一元氣の流行なるがごとく、元來文武一明德なれば、武ばかりにて文なきは、秋冬の陰のみにして春夏の陽なきが如し、文ばかりにして武なきは、春夏の陽のみにして秋冬の陰なきがごとし、文は仁道の異名、武は義道の異名なり、仁と義は同じく人性の一德なるによつて、文武も同じく一德にして各別なるものにあらず、仁義の德をよくさとりて文武の沙汰をあきらむべし、仁にそむきたる文は、名は文なれども眞は文にあらず、義にそむきたる武は、名は武なれども實は武にあらず、文武の正味をよくかみわけざれば、心の闇いとくらく萬事のさはり多かるべし。

是れ形によりて道まで異なれりと思ふを戒めたる文なり。又星野高遠の著武學拾粹に說て曰く、

文武の道は人たる者日用にも備はりて、事なを文と武とを離るゝと云ふこと無し、然れども文武の異理は一朝一夕に覺び知らるべきに非ず、先づ文道は詩文書を學び、和歌を詠じ、武も亦弓を射、槍を遣ひ、劍を學ぶことのみに非ず、是等を以て文武と云はゞ、人々何れをも得手たる一藝は習ひ得らるべし、故に古より文武を會得したる人甚だ稀なし、されども詩歌文書も文の小端、弓馬槍劍も武の小端にして、文武の眞面目は合せて一體と成り、人倫の常道也、然らざれば偏文偏武也、偏文は甚だ柔弱に偏武は甚だ驕暴にして、用ふるに足らず、文武は鳥の兩翼車の兩輪の如く離れざるものなり、或は云平士文の用なく武を學んで足るべしと、是目前の理を指して己が意情を務ひ、人倫の道に暗く國家の大法に違背すと謂ふべし、如何となれば、文武は人倫の常道上天子より下百姓に至る迄履すべからざる也、但し其職とする處に依り、取用は異なれども、理は一致に歸する也、殊に今の世の武士は民を治め政を施し、國家を調理する吏職の任にも當れば彌々文に志し道理を會得し、事に臨み判斷の才無くして叶はず、又た吏職の人と云へども、軍役の部附あれば武を學び軍兵の用を知らずして可ならんや、偏文偏武一般に歸するの至理は識者に就て明らむべき也。

## 廣梁灣行

勝村生

○勿論快晴ではなかつた。近い山裏にも遠い海の方にも雨は昨夜のまゝに降り籠いて居るのであらう。東の方の空ばかりに幾個處も雲の切れ目が出て薔薇色の麗はしい日が如何にも春らしい光を時々街の家根や柳の並木に投げるのを賴みにして出發する事に決した。

○當てにはならぬ龍岡行きの自動車を待つて日を暮らすよりもと遂にガタ馬車を雇ふて行く事にした。狹苦しい幌の中に座はると馬車は懲いて飛び上つた樣な怖ろしい動搖と共に走り出した。暖かな日が野の一面に輝いて漸々晴れて行く樣子である。

○大同江下流の入江に架けた三和橋を渡る、恰度滿潮時と見えて濁つた潮が渚に芽ざした赤い莖の若草や三四寸延びた蘆の棒芽の上を越して來る

滿潮は押へ難なきわだ底の力のまゝに溢れいでけり

○此の邊は鹹水浸入の爲め水田に成らず見渡す限り蘆田にあらざればネトくした泥の干潟である。馬車は石を噛んで大地震の樣に搖れ始めた。道路修繕の小石が敷かれたばかりで有る斯んな磧原の樣な路が何處まで果てしなく續いて馬車は牛の足よりも遲々として進まない。其の上大波の樣に起伏する路を上つたり下つたりする。幌の間から外を見て居ると眼の痛くなる程赤土の山畑が續いて申譯ほどの樹木も無い。甕を抱えた奇麗な水汲みの朝鮮女と綦の靑い菜などが僅かに寂しくわびしい心を慰める。

○薄暗くなつて晩秋の宵などによく感ずる樣な冷たい風が吹いて來たかと思ふと沛然として急雨だ。

俄雨お地藏樣も濡れにけり

○道は漸く險惡なる修繕區域を脫した雨は益々甚だしく降る。車軸を流すと云ふ程でなくとも轍の痕は直ちに小さな瀨に成つて流れる。幌を漏つて馬車の中には小さな瀧が幾個も落ち騷がる。

山吹の宿かる程の家もなし

御者と馬とは更にづぶ濡れとなる

蘆田の靑に注ぐ春雨。

二つづゝ重なり合ひて坂道に滑べるが悲し馬の足痕

○雨は村雨の樣に時々止んでは又急に降つて來る。道傍の朝鮮家屋から日本人や日本建の面事務所の窓から朝鮮人が顔を出して雨に喘へぎながら走つて行く馬車を眺めて居るのを見受けた。(つゞく)

## 下關期米特電

▲二十日後場 (前場は各地の强調に刺戟せられ對照月先共押目買)

▲二十日後場

四錢の大鞘

▲二十日の六月限

法人登記公告

京城地方法院

大正五年四月拾七日登記

諸用紙購買

第壹號　第貳號　第參號

朝鮮總督府官報ヲ見ルヘシ

臨時土地調査局

簿記男學生募集

私立認可　下關高等簿記校

消夏漫筆　支那

後藤男爵閣下題字　阪谷男爵閣下序文

法學士 中山成太郎先生譯

愈々日本發賣

紛糾せる隣邦の研究は刻下の一大急務

中山先生著　蘭領東印度

東京神田一ツ橋　有斐閣

內科　小兒科　入院隨意

京城明治町(元靑年學院跡)

中島醫院

院長　中島貞信

電話三七八番

小學校を卒業して

女學校に入學出來ぬ事情のあるお方は此講義錄をお讀みなさい

本會に入會すれば

實修 女學講義錄

會長 從三位 下田歌子先生

講師は女子教育に經驗深き一流大家

卒業一箇年半

入會金全免　獎學金進呈

大日本實修女學會

教育画報

新幼年

五月號出來　本誌には每號面白き教育的附錄が添へてあります

佐々木吉三郎先生賛助

一冊金二十二錢

發行所　新幼年社

新々英和辭典

マスター、ヴオー、アーツー男爵

監修 神田乃武先生

法學博士、農學博士

新渡戶稻造先生

ヘラルド、ヴオ、シア社長

頭本元貞先生

三省堂編輯所編纂

最も現代的なる發音假名付英和辭典!!!

英語辭典選擇の誤は一生の大損

出來確定期日四月廿二日

株式會社　三省堂

東京神田

## ○袁總統憂心忡々

袁總統は周圍の各大官が悉く曖昧の態度を持し眞面目に相談を爲す者無きを悲觀し其の旨を親近者に語れりと(北京特電)

## ○黎元洪勸告を斥く

最近袁總統は再び黎元洪に總統たらん事を勸めしも黎は眞意にあらざるを看破し言下に之を斥けたり(北京特電)

## ○財政窮乏と梁の奔走

各省の送金絶無=外國借款不能

支那は各國が同一の歩調を取りて鹽税剩餘金引渡しを肯せず米國借款も其の後中止となり各省よりの送金も亦皆無なるを以て財政非常に困難に陷り最早外國に借款を爲す見込なきより梁士詒は個人として各國商人間に奔走し如何なる利權讓渡しも必ず承諾すべき意志を表し各省より少額づゝ借り入れんと目下運動中なり(東京特電)

## ○福建省亦獨立宣布か

福建省も亦獨立を宣布せりとの報あり(北京電報)

## ○最後通牒と大統領

華盛頓來電に據ればウヰルソン大統領は議會に於て對獨外交問題に關する一場の演説を試み政府は獨逸に向つて事實上の最後通牒を送れり此に就て別に議會に對して其の權能の行使を求めず單に獨逸が近來再び開始せる潜航艇戰に依り獲に米國に對して與へたる保障を蹂躙せる確證は吾人の手許に堆積せりと述べたり(紐育電報)

## ○ドーモン西方の激戰

十八日の戰闘=獨の死傷者一萬

巴里に於て發表されたる公報に曰く十七日ヴェルダン附近に於いて行はれたる砲戰の後三〇四高地は攻撃せらるべしと豫想せられたるに拘らず獨軍はポアブル高地を其の目的物と爲せるもの丶如く十八日未明より砲撃は猛烈となりドーモン村落ホードロモン、チョーフォー森林より十四線の處に連續せる敵の密集隊進出し來りたるが悉く撃退せられたり我砲火は最初敵軍を倒し續いて我が塹壕より二百米突の距離に於て殘敵を全滅せしめたりドーモンの西方に於ける戰闘は特に激烈を極め獨軍は塹壕の一足場を占領せるが之より先襲回か我軍の爲めに撃退せられたり敵は多大の犠牲を拂ひたるに拘らず僅かに價値なき一小突出物を占領せるに止まり我軍はポアブル高地の前陣地を維持せり獨軍の死傷者一萬人に達し實に戰線一米突に對し七人を失ひたる割合なり(東京特電)

## ○ト占領と公報

露都來電公報はトレビグンド占領を報ずるに當り說いて曰くアナトリア海岸に於て最も重要なる同要塞の陷落したるは陸軍及び黒海艦隊の協同動作に由る高加索軍は四月十四日カラダラシ河に於て行はれし激戰の後敵の頑強なる抵抗に會ひながら萬難を排して土軍を壓迫せり(倫敦電報)

## ○厦門商況不振

十九日厦門發外務省着電に據れば同地の市場は融通逼迫益々甚だしく銀相場逐日暴騰しつゝあり尚香港の爲替相場は稍逆戻りの氣味あるも銀貨暴騰の爲め南洋よりの送金見合せに依る特種の現象と認む其の他一般取引は時局の影響を受け全然杜絶す人心も不動搖せり(東京特電)

## ○大阪財界便り

船舶其の他必要の物件を買收するの件 別途積立金處分の件 未拂込振替充當の件……

千八百八十三擔耕地白糖七萬三千三百三十六擔赤糖七萬九百七十八擔合……

……のなりしが歐洲戰亂の結果撫洲炭の輸出制限に次ぐに輸出禁止となりしに高値を喚し本年七八十圓にて交渉纏りたる由……げ居れり

▲米棉運賃未決 本年十月以降に於ても運賃協定を試み居るも容易に纏らざる次第にて之れが決定……

▲曹達灰悲觀 硝石原料たる曹達灰は歐亂の影響に依り船腹不足……し處近時に至り市中に六七千袋の在荷ありとの事を確めたるや……下向き昨今九圓位を唱ふるに至れり

## ○山公益々良好

小田原古稀庵に靜養中なる山縣老公は一兩日前より食慾稍增進し體溫は朝夕幾分の昇降あるを免れざるも著しき變化なく三十六度二、三度より七度を往復しつゝあれど尤も老體の事とて滋養物の攝取に困難なる爲め衰弱の回復する迄には猶少なからざる日子を要すべく十九日山縣政務總監の見舞を受けたる外は一切來訪客を謝絶し只管靜養に努めつゝあり今日の所病狀に急變を來すが如き事なかるべしと(東京特電)

## 臺灣共進會彙報

▲宮殿下御出發 閑院宮殿下は二十日午前九時五十分臺北發特別列車にて臺中に向はせらる總督府よりは安東總督同夫人隈通信局長湯淺警視西本技師其の他警衛員等隨行せり殿下には同夜臺中に御一泊翌二十一日臺南に向はらるゝ御豫定なり

▲諸名士來臺 臺灣勸業共進會視察の爲め北里博士、波多博士、村井吉兵衞氏、關屋朝鮮總督府學務局長及び其の他の諸名士二十日來臺せり

▲一木内相離迎會 臺北官民有志は二十日午後六時より鐵道ホテルに於て一木内相の離迎會を開催すべし(臺北特派員電報)

## ○安東縣防穀令

安東縣にては本月三十日より大麥、小麥、高粱、包米、粟及び黍に對し防穀令を施行する旨支那官憲より其筋へ通知ありたるが鳳城縣にても亦來る二十五日より前記六種類及び麥粉に對し同じく防穀令を施行する筈なり(安東縣)

## ○林野區分調査

朝鮮有林野區分調査は大正九年度を以て全部完了の豫定にして其半分方は既に調査を了し居れるが最近著手すべき箇所は左の如し

▲京畿道 江華、富川、始興、金浦の四郡及び仁川府

▲慶尚北道 鬱陵島

▲慶尚南道 金海、昌原、統營三郡の各部

▲平安南道 江東、成川、平原、順川、价川、孟山、寧遠、大同八郡

▲黃海道 鳳山郡

▲平安北道 昌城、碧潼、雲山、朔州、龜城、龍川、楚山、泰川八郡

▲咸鏡北道 會寧、富寧、鏡城三郡

因に此調査班は十四班より成り一班は技手以下五名を以て組織す、左の内京畿道及び慶尚北道は三四日中に調査を開始す可しと

## ○鑛業明細表

鑛業明細表並に砂鑛採取業明細表は從來鑛業法及び砂鑛採取法の規定に依り毎年一月七日の兩度に前六箇月間に採掘したる鑛産物の數量、販賣高、販賣代價、工業日數、工數等を記載したるもの三通を當局に差出すことに規定せられたるが、新鑛業令に於ては毎年一月末日迄に其の前年分を差出すことに改正せられたるに拘らず、鑛業權者中には往々其筋の督促を俟ちて屆出を爲す可きものと誤解し之が屆出を怠るものあり、斯の如きは其整理上不便甚しき而已ならず嚴重なる罰金の制裁あるを以て此際屆出未濟のものは至急之れが屆出を爲すべしと、因に未着手、休業等により何等記載す可き事項なき場合に於ても亦其の旨の屆出を忘る可からず

## ○會議所と諮問

京城商業會議所は曩に總督府より諮問せられたる「商工金融機關の利弊に關する件」に就き各議員に對し四月十五日限り其意見を提出せらるべき旨會議所より通牒を發したるが同期日迄に回答し來れるは會議所三十名の評議員四名の特別評議員中鮮人側は全部回答し來り旅行中なる韓相龍氏の如きは叮嚀なる申譯狀を送附し來りたる程なるに一方内地人側にありては龍山の小谷清、谷口小次郎の兩氏のみ連名にて回答し來りたる以外意見を提出せざるは勿論何等の應答をなさゞるため遂に二十日役員會を開催して役員の意見を求むるに至れるものなるが右に就き一部組合員中には會議所も折角新機運に際會しつゝあり議員も亦遠大の希望を以て當選せるものなれば如斯重要諮問事項に對して應答するは勿論進んで會員の指導に任ぜられんことを熱望して止まずと云ふ者もありと

## ○府税と負擔額

大正五年京城府豫算中の府税は二十四萬百八十三圓なるが今其府民の負擔額を聞くに昨年末調査に依る人口は二十四萬一千八十五人(内地人六萬二千九百十四人、朝鮮人十七萬六千二十六人、外國人二千百四十五人)戸數は五萬五千三百六十七戸(内地人一萬六千九百三十三戸、朝鮮人三萬七千八百六十一戸、外國人五百七十二戸)にして負擔額如左

| | 府税(圓) | 一人當(錢) | 一戸當(錢) |
|---|---|---|---|
| 内地人 | 一四三、六八〇 | 二、二八四 | 八、四八五 |
| 朝鮮人 | 八七、四九六 | 四九七 | 二、三一一 |
| 外國人 | 九、〇〇七 | 四、一九九 | 一五、七四六 |
| 計 | 二四〇、一八三 | 九九六 | 四、三三八 |

## ○官立校卒業者

鮮内官立各學校に於ける本年の卒業者數は京城專修學校五十六名、京城中學校本科八十四名、附屬臨時小學校教員養成所三十三名、京城高等普通學校本科六十四名、師範科十九名、附設臨時教員養成所第一部八十名、同第二部(内地人)五十五名、平壤高等普通學校本科五十五名、師範科十五名、京城女子高等普通學校本科三十二名、師範科三十九名、技藝科十二名なり

## ○會議所の懸賞

工業獎勵案懸賞規程

京城商業會議所の企になる家庭工業獎勵案懸賞規程は二十日午後二時より開會したる役員會に於て左記の如き規程を決定發表したるが會議所にては應募したる一等當選の家庭工業獎勵案に對し直ちに實行に著手する筈にて個人にして之れを引受け經營するか或は會議所より指定したる者をして一般に指導奬勵の方法を講ぜしむる等の遠謀を取り會議所としては何等の利的に關係せざる由なり尚ほ本問題に就て照會せんとする人は直接會議所に照合すべしと

懸賞規程

一、答案は左の各項を基礎とすること

(イ)京城に於ける内鮮人家庭の勞力を利用し各家庭に於て直ちに著手實行し得可き最も有利なる工業の種類、經營、管理、資本、收支計算、生産額

(ロ)各工業に要する原料は朝鮮産を主とし最も有利なる蒐集及び購入の方法

(ハ)生産品の販賣に關する販路開拓の方法

(ニ)工業の種類は數種に渉るを妨げず

二、答案は理論を避け實際に應用し得可き具體的のものにして特に數字的說明詳密なるを要す

三、答案は鮮明に淨書し京城商業會議所書記長宛親展封にて送付せらるべし

四、答案は審査の公平を保つ爲め匿名とし住所氏名は別に認め答案中に挿入せらるべし

五、募集締切期限は來る六月三十日とす

六、應募答案は當所より依囑する審査委員にて審査の上當選者を定む

七、答案原稿は一切返却せず

前記期間の答案につき甲乙丙の三等を選出し各當選者に左の賞金を贈呈す

(甲)一百圓 (乙)五十圓 (丙)二十圓

## ○愛婦獻金勸誘

愛國婦人會朝鮮本部にては明治神宮奉贊會の趣意を贊同し、廣く朝鮮に於ける本會々員及び一般婦人有志に對し左記申合せの通り應分の獻金を募集することゝなれり、申合せ如左

一、獻金額 會員及び一般婦人の獻金額は十錢以上とす家族中子供の分をも獻納したき向は其の額を一錢以上十錢以内とす

一、獻金取扱所 愛國婦人會朝鮮本部、各支部、各委員部に託く

一、募集期限 大正五年七月十日限り

一、沖納手續 獻金はすべて朝鮮本部に於て之を取纏め明治神宮奉贊會に沖納す獻金者に對しては取扱所より領收書を出すべし

## ○勸銀總裁來鮮

志村勸業銀行總裁は二十四日關釜聯絡船にて釜山上陸京釜線列車に搭乘入京す可き旨某所に通報ありたり

## ○滿洲の日本人

發展極めて微々たり

滿洲の日本人は年々多少の增加を見るも一方歸還者も多く而して其の增加率は甚だ充分ならざるが故に大正五年の今日に至るも其數猶ほ十萬に達せず大正四年末現在の總數は九萬六千六百六十八人なり邦人居住者の最も多きは關東州管内にて就中大連を最とす近來鐵道附屬地内に居住するもの漸く多きも其の增加も固より著大なりと云ふにあらず領事館管内に至りては最も甚しく減少せり南滿洲の如きは却つて著しく減少せり南滿洲には今日日本人の自由居住をなし得る事となりしも狀勢右の如くなるを以て關東州内、附屬地、領事館管内以外の地には殆んど何等の發展を見ず多少の發展を見るとするも固より言ふに足らず帝國の保護力薄き處は邦人の居住も隨つて稀薄なり大正四年末調査によれば關東州管内四萬九千五百七十二人、鐵道附屬地三萬四千二百三十九人、領事館管内一萬二千八百五十七人にして其他は數ふる程にもあらず又實際その人口を正確に知り得べき道もあらず滿洲に於ける日本人の移住斯くの如く不振なるは日本人の不發展に引替へ支那人の發展と共に大に研究を要する問題なるが右附屬地等の我が領域内にも益々その人口を增加しつゝあるは注意すべき事に屬す明治三十九年の州内支那人は三十六萬零四百二十六人なりしが大正三年には四十七萬三千二百八十人となり州外鐵道附屬地には明治三十九年に支那人の數僅かに一萬一千零六十一人に過ぎざりしに大正三年にはそれが五萬一千四百零一人に增加せり叙上の人口趨勢は特に特殊の變化を見ざるより今後も略ぼ同一のものと認めて可なるが如し(大連)

## ○甘浦の鯖大漁

慶北東海岸に於ける鯖漁業は例年四月下旬より開始するを普通とするが本年は三月十日頃より鯖群甘浦沖に顯はれ同月十日以來昨月三十日迄は五萬尾本月二日は六萬五千尾三日は七萬一千尾の大漁あり此の如きは甘浦創始以來の盛況なり

## ○朝鮮人の内地文官

朝鮮人にして内地官吏となりし嚆矢なりとして昨年中喧傳せられたる金基善氏は當時東京府南多摩郡書記として奉職せしが此程東京府屬に轉任を命ぜられ農商課に勤務するに至れり氏は開城の人なり

## ○東萊溫泉の新設備

朝鮮瓦斯電氣會社にては豫て宿題となり居りし同會社東萊溫泉場溫泉湧出敷地利用方法に付愈々今回同敷地内に一般公衆入浴槽を建設する事に決し目下設計中なるが建設費一萬圓を以て本館三棟八十五坪、浴室一棟四十五坪、浴槽九間に五間外に貸切用家族用の二浴槽も設備し而して同建設家屋の周圍には大庭園を設くべしと而して起工は五月上旬にして六月中旬迄には是非共竣工を告ぐ可き豫定にて準備を急ぎつゝあり(釜山)

## ○昌信普通校設置認可

京城府内に設置計畫中なりし公立昌信普通學校は本月十八日附を以て其筋より設置認可の指令ありたり

## ○龍山在郷軍人會總會

龍山在郷軍人會にては來る三十日寺内總督井口軍司令官、憲兵隊司令官其他官民多數を招待し龍山柳町軍人倶樂部に於て春期總會を開催する由

## ○東海道線連絡新驛

本月十五日より東海道線沼津興津間に由比、興津(蒲原より三哩一分)(由比より三哩七分)を新設し一般運輸營業を開始したれば旅客手荷物及び大小荷物の連帶取扱區域中に含む可しと

## 人事消息

▲橋本第九師團長 二十日夜入京巴城館へ

▲朴重陽氏(中樞院贊議) 二十日夜入京不知火旅館へ

▲橋本豫徳氏(土木課技手) 二十日夜釜山より入京天眞樓へ

## ■南言北語■

或る物好きの皮肉屋が物もあらうに特に七面鳥の幅を尾崎、犬養兩君の前に突き出して發を求めた▲すると犬養君機先を制して『千體萬化其鳥中之政治家乎』とやる▲尾崎君何の皮肉つてニヤリと筆を執つて「一變通自在獸すべき直に筆を執つて不凝滯物聖人之常也」とやつた▲雨な看來れば苦笑を禁じ得ない▲此處で言子にも亦一句あり曰く『裝飾改過亦聖人之常乎』は何うぢやあらうかい▲慶尙南道の道長官から歸知事に轉じて今では閑日月を送つて居る香川輝君と云へば有名な貧乏者で自ら無一と號して居る▲處が此の無一先生兎角物事に飽きつぽい方で何に一とつ遣り遂げた例もないと云ふ▲處が劍道ばかりは三十餘年熱心に研鑽した結果新に無心の一流を開いたとか▲貧乏の上に無一とか無心とか先生徐ッ程無が好きだと見える▲貧乏と云へば與田東京市長の清貧論に曰く▲昔の清貧は貧乏崇拜の貧乏奬勵だつた▲現代の清貧はそんな風ではいかぬ清貧に安んじて自ら清福を來すようにするのだ▲と兎角清福が不義に陷り易いのだから不可になる▲妙に貧乏詐りで恐縮だが樞府に納まつて居る安廣伴一郎君と來たら▲依然十年一日の如くボロ靴にヨレ〜の洋服其れで何處へでも押し出して行く▲其處で何んで彼の樣に貧乏だらうかイヤ豪傑だなど云ふ者もあるが▲其の實大の握り屋で斯うしてセッセと溜めて置て本邸を飾り立てたり箱根や小田原に別莊など構へたと云ふ事だ▲而して一人で悅に入つて居るとはマア其れ位の處が明哲身を全うする方だらうね▲米英國内閣が又た危機に瀕したとか獨逸に事實上の最後通牒を送つたとか▲蘭國璽が中立を宣言したとかアーやかましい仰々しく云ふんぢやないマア見給へ櫻が咲いたではないか


日韓書房
新版報告
六法全書 各種新舊著
法律要覽叢書 各種新刊著
一喝錄
前進の望
全譯 ドンキホーテ
京城本町二丁目

講談 落語 娛樂世界
越後傳吉 幽靈旅館 感服色
利根の夜船 鬼大尉 花の名所と今昔
中老の戀 天狗問答 活動寫眞譚
義犬塚の由來 人懸賞募集
五月號廿一錢
鈴木書店

鑛山用測量器械 シンサキ

朝鮮總督府 蔘精
朝鮮總督府蔘精は政府の專賣品たる紅蔘の製造と相俟て生産せらるゝものにして民間の製品とは全然品質並に成分を異に致居候に付御買求の節は必ず朝鮮總督府の封紙に御留意被下度願上候

高麗人蔘
▲京城市内は電話二七七一番にて御注文被下候はゞ直に御屆可致候
朝鮮總督府蔘精總販賣元 京城南大門通五丁目 振替貯金京城二九〇一番 板倉支店
朝鮮總督府官蔘總販賣元 平壤竹典里五番地 本店 板倉商店

人體に必要なる燐と鐵との効力を極度に發揮せしめたる
滋養大關 次亞燐
特効 ▲神經衰弱▲消化不良▲榮養不良▲發育不全▲精力減退▲老衰虛弱
定價 大瓶 貳圓 中瓶 壹圓參拾錢 小瓶 八拾錢
▲各藥店にあり
本舖 大阪道修町 藥種問屋 小西久兵衛

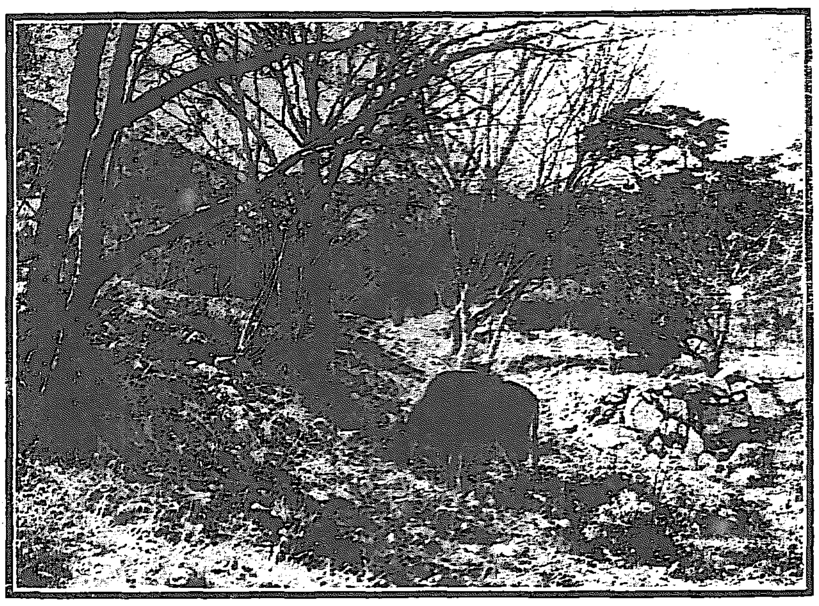
…計畫を三百萬圓に増す その件之に依る定款改正の件八十五萬圓を以て紀伊水産長門捕鯨大日本水産の捕鯨…

▲臺灣製糖積出 臺灣製糖の三月中に於ける積出高は直輸糖六十七萬八千七百十五擔原料糖三十四萬七百十五擔なりと

▲撫及び石炭 從來內地石炭輸出は新嘉坡孟買方面が其重なるも[illegible]接し其一部一萬噸餘は最早積出み[illegible]したるが之はスエズ運河經由エジプト方面への輸送にして其運賃は非常[illegible]好況を呈し若松大阪間一噸二十錢內[illegible]司揚運賃三圓六十錢と云ふ高値を告[illegible]

[illegible]會社にては左程にも重視せず棉花業者は未だ何等の交渉を受けざる有樣なるも然るに聞く處に依れば船會社側[illegible]のストックポートにて年內設成すべき三隻の內五千六百噸級一隻は此の程山下汽船へ賣却の事に決定せり

[illegible]二圓て[illegible]騰相場を現はし[illegible]もこの見解より各自等[illegible]手放すを欲せず[illegible]の狀態に在り



加古里の櫻

# ●櫻の名所 加古里

## 三百年前の老樹 見頃は本月下旬

牛耳洞の花は何時咲くか、加五里の櫻花は何時綻ろびる？昨日實地檢分に出かけて見ると兩地ともに花の蕾はまだかたい、併し遲くとも茲數日內には乾度笑ひ初めるに相違ない、我らが櫻花が頑張ても白雲臺下の春の

□日ともうこのやうな時の暦には我慢し切れず綻ろびるであらう

牛耳洞には昨今最早や二十餘軒の茶店が出た、白い天幕や紅白のだんだら幕の間には紅い酸漿提灯やビールの彩旗が賑やかで、シトロン、サイダを注ぐ姐さんのエプロンにも春の光りは映り出して見える、それに東小門から北漢山の麓に添うた

□坦道には既に燃え立つ陽炎を逐うて自動車が行く俥が行く自動車には武官を伴れた李埈公殿下が乘つて居られる、夥多の仲にはまた南山町あたりの美人もあつた、それにまた市內各所の料理店からはビールや天幕を積むだ荷馬車が急ぐ、牛耳洞の花は茲數日の後であらう、併し白雲臺下一番の紅い躑躅や貴い連翹を見る爲めには昨今往つても遲くは無い

□櫻頃は今が滿開である捗ほまに世間に餘り知られぬけれども牛耳洞より半里ばかり手前の加五里の櫻は決して花見の客が忘れてはならぬ加五里は矢張り白雲臺下の峰つとき、石のごろ／＼した藥水の流れる川もあれば山もありそれに遙か向ふには青絨氈のやうな麥畑の廣野も見える、此處の櫻は牛耳洞と同じくむかし李朝時代の弓の材料

□にとて植えた苗木で大きなものは二百年乃至三百年の老樹から下つては百年乃至四五十年の櫻もある、櫻の樹形はまた非常に面白く中には徑四間餘りの枝垂櫻もあれば盆栽に拵へたやうな枝振もある、櫻の種類は大凡四十餘種に餘り目下加五里稻垣農場主任須藤氏がこれを學術的に研究中だが確かに日本內地の櫻

□とも種類が異ふやうであるその證據には花の著き振りを見ても或るものは同じ場所に密著して出たのもあり或るものは返生的に双對的に各自いろ／＼異つてゐる、櫻ん坊はまた內地の櫻桃やチェリーなどとは種類が異つて其の味ひが眞に美味い、斯くの如き櫻の名所加五里の谷が從來一向世間に顧みられずして捨てられてあつたとは

□ちの土地だつた爲めでもあらう一に農場主稻垣竹內兩氏の個人有地だつた爲めでもあらう 併し今年は一般花見客の爲に自由に農園を開放して飽くまで加五里の花を賞して貰ふ計畫である、菫花の匂ふ川添ひに水のせゝらぎや鳥の聲を聽きつゝ加五里の里を訪ふた人は櫻の他に杏、桃、梨なぞの花も見る、それにまた李朝百年の昔に古りたる鹹遠櫻の樓臺は昔し大院君の別墅であり建物で此處揚州郡漕溪洞の風趣を

□[illegible]には是非訪ばればならぬ處である去る明治四十二年の春三月場主稻垣氏が加五里六萬餘坪の農園

# ●內地で大評判の鮮人角男

## 興行師の喰物となる

目下名古屋市東區南外堀町名古屋國技館前にて興行中なる例の角男と稱する文永萬（十七）は京畿道廣州郡都大面淸谷里文泰景の長男にして大正三年六月五日當時渡鮮中の興行師岡知渡三郞が同年の七八兩月を三十圓にて借り受ける約束をなし永萬を連れて日本に歸り各地を興行して廻りたるに約束の二箇月を經たるも倭三郞は永萬を親元に歸さず相變らず各地を巡業し居たるが永萬の父は永萬の身の上を心配し遂に病氣となり昨年四月二十五日死亡したるより其後永萬の親族等は永萬の所在を搜査中、永萬は此程名古屋市に居る事を聞知せしかば永萬の親族なる張京澤は此程前記の次第を新榮町署に申出たるより同署にては十二日永萬並に倭三郞の兩人を召喚し目下取調中也（名古屋通信）

[illegible]を拓いた時には隨分暴徒の危險もあつた、併し其後八年間の經營に櫻の林も保護されて今では場內一丈五尺以上の櫻樹が約五百本殘つて居る、道は總督府醫院裏の東小門から一里三十三町二十五間程、花が咲いたら京城加五里間の自動車も通ふ筈、俥賃は片道約六十錢、徒歩にても東小門から約二時間あれば充分行ける、自轉車ならば一時間足らず、道は四間幅の坦道で步行には極めて容易である。

# ●長さ十一間の鯨を捕獲

去る十四日正午頃平南江西郡赤松面穀新里の南方約二十町の沖合にあたり日頃見馴れざる浮瀕の如き物現はれたるを龍德里々民が發見し訝かりながら舟を出して近づき見れば浮瀕の如く見えたるは死したる一頭の大鯨なりしかば忽ち大騒ぎとなり里民集まりて肉を切り取り食用に供し油は石油代用として燈火に用ひつゝあり此の報に接したる甑山憲兵分遣所にては郡廳と協議の上價格は數瀕里に保存せしむべく十七日里民二百名を集めて海岸に引寄せ解體せしめたるが長さ十一間重量實に一萬六千斤餘の大鯨にして若し新鮮ならば價格約三千圓に達すべかりしも死後約三週間を經過したるものと推定せられ腐敗に傾き居たれば先づ五百圓位の値打に過ぎざりしといふが同地方岸にての鯨の捕獲は未曾有の事にして鯨を見たる事なき鮮人多ければ之を見んとて群集し同地方は時ならぬ殷賑を極めたりと

# □澄宮殿下 御箸初式

第四皇子澄宮殿下には其後御發育も益々御良好にて[illegible]御斷乳も御滯りなく[illegible]御誕生後百二十日目に行はせらるゝ[illegible]御延期中の所[illegible]二十六日青山御所內なる澄宮御殿にて行はせらるゝ事に御內定遊ばさる

# ●五百貫の大鱶

## 加德島沖で網に罹る

十八日加德島沖合にて流網船が漁中如何なる機みか巨大なる鱶が網に引懸り船に積むことを得ざるより其儘引張りて釜山水產會社に來揚げたる[illegible]身の周圍約一丈[illegible]長さ二間半、價格百二十圓[illegible]而して陸上に引揚げて切り離し[illegible]其の取引[illegible]は見物人にて賑はひたり

[illegible]たること發覺し京城地方法院に起訴されたるが十九日控訴役一年の處分となりたるを不服とし同覆審法院に控訴したるも棄却となりたり

# □五月人形

## 賣行好き座敷幟 金巾ものと紙製

花の便りがポツ／＼と傳へられる今日此頃、本町通りの玩具店の飾り窓に無邪氣な金太郞や强さうな加藤淸正なんぞが反り返つてゐるのが年中行事の一つである端午の節句の近づいた事を思はせる、京城の樣な土地では此の種の古い行事は甚だ振はない樣に思はれるけれども事實は反對で廢れるどころか年々

□盛んに なつてゆくのは日本內地と些しの異りもないと言つてい、京城に於ける總ての階級の生活狀態が高いせいか此の二三年來殊に盛んだといふ事である

□三越の 出張所などで聞いて見ると例年京城府廳の男女の出產數を調べてその統計に表はれた數に應じて仕入るとそれが彌生の節句にしても

□端午の 節句にしても大抵捌けてしまうといふのに徵してその一斑が窺がひ知られる、三越では十五日から五月人形の陳列會を開いてゐるが

□御大典 後始めての今年の節句は例年よりも餘程賣行がいゝ、一番多く出るのは座敷幟で五本立、七本立、九本立の二三圓乃至五六圓ぜころのものが一番多く

□京城に 來た一番高い三十三圓二十錢といふのは二臺あるが既に豫約濟になつたさうだ、人形も矢張り二三圓臺が一番歡迎される、京城で賣行のいゝのは金太郞、桃太郞又は

□馬上の 武者人形に止めを刺し、一人武者二人武者などが之れに次ぐといふ有樣である、五月人形には今年も別に新しい傾向は生れて來ない樣だ

□鯉幟は 染料の關係で今年は幾らか高くなるだらうと豫想されてゐたが事實は少し下がつて來た、之れは需要の少ないのに因るのでもあらうか

□昨年は 金巾物で七八圓であつた最大三間半物が今年は六圓五六十錢になつてゐる、以下一間位まで半値下りになるが値段も之れに準じて廉くなつてゐる

□紙製こ なれば此の値段よりは餘程廉くなるわけだ

# ●身から出た錆

## 墮落青年の判決

廣島縣廣島市平塚町十手川生れ當時京城北米倉町居住佐藤鐵（二）は廣島市に於て商業學校の豫科を卒業し居り商店の貸の身にてありたるが京城新町雜貨商[illegible]淸月樓娼妓奴外十名より取立てたる賣掛代金合計三十九圓六十七錢を數回に橫領して同遊廓にて消費したるを初めに其他各所にて竊盜を働き[illegible]の資込み代金の取立て等に從業中昨年五月一日より七月十二日迄に[illegible]

# ●仲裁人を斬る

京城北米倉町池仙璜（二一）は四月十日午後四時頃酩酊して歸宅したる際妻の洪姓女が小言を並べたるより之を[illegible]洪姓女は隣家の李允鎬方に逃げ込みたるより池は之を追つ掛けたるに李允鎬が止めたるに李は大に怒り家主金益舜方の炊事場より庖丁を持ち出して李允鎬に斬付[illegible]程良き[illegible]京城地方法院にて[illegible]判決となりたるも[illegible]

# ●少女を誘拐して

[illegible]

# ●街頭で頓死す

長崎市[illegible]當時京城[illegible]多助（[illegible]）は十八日午後七時頃花町[illegible]に來り本町十二丁目巴町油醬道所前道路を通行中卒倒したる儘死亡せり同人は豫て腦病に罹り居りて喀血せるものより[illegible]仁川署にて檢視の上[illegible]引渡したり

# ●他人の印で詐欺

[illegible]

# ●松齡會春季大會

觀世流松齡會にては來る四月二十三日午前十時より壽町松翠樓に於いて春季大會を開催すべく其番組左の如し

[illegible]

# ●平壤の店員運動會

[illegible]

●辻屋商店の洋傘大賣出し [illegible]

●樂公會の記念禮拜 [illegible]

# ▽都會らしい

色彩浮き出て來た。春から秋にかけて此の町の繁昌と共に、市民のために夜の遊歩場として最もふさはしい夜市が來る二十三日の日曜の夜から開かれる事になつた。アセチリン瓦斯やカンテラ、ランプ、蠟燭なんぞがさり／＼に輝いて一面何文の商品がゴタ／＼と店頭に並べられるのは二三日の中の事であらう、夢から醒めるさ、其處には[illegible]の花が咲いて[illegible]明るい世界が開けた樣で[illegible]

# ▽灯街の現出

[illegible]

# ▽[illegible]はうたか

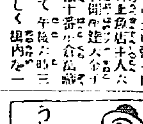
[illegible]現に今太平通りにバラック建の樣な粗末な家ながら店を並べて一開の商店主となつた者が大分あるが之等は行路店で成功した者が多いのを見ても知れるではないか。一昨年は本町[illegible]

# 露店研究

## 太平通夜の賑ひ 小資本の小商人

あの廣い十五間道路の兩側、切目正しく敷石を敷んだ人道に沿うて、[illegible]步を吹いた街路樹の柳が、靜かな春の夕風にそよ／＼と揺れる今日此頃の大平通りには、毎年の事だが輕い調子の

[illegible]十分優勝旗を先登に樂隊の音勇ましく場內を一週し解散せり（平壤）





[illegible]發忠壇の連翹、南山の山櫻が滿開の眞最中に雨に打たれて惜しいと思つたら、何ぞ知らん、花を誘ふの雨となつて、朝には倭城臺邊の日向の好い小庭の櫻は二三輪綻び初めた▲之れが櫻の魁かと思つたら水越鮮銀理事の庭の櫻は一枝だけ今滿開だといふ事だ▲花といへば此頃は櫻が代表して了ふけれども朝鮮では杏の花が一番に美しい京城附近では北門外などが花の名所の一である▲北門を出てから洗劍亭あたりが其中心で毎年谷も丘も全く紅霞に埋まるが、餘り知つてる人がない▲此所の杏は牛耳洞に一週間位早く咲く例だが最近の暖かい溫氣で二十三日の日曜には五六分の見頃だらうとの噂


# 京日案內

普通（一行…）　番外（…）

代診　[illegible]　京城[illegible]　直接醫院

[illegible]　京城南大門[illegible]

代診一名至急募集す志望者は來院あれ但し經驗ある者　仁川　佐藤病院　230

印刷機械讓り度し　赤荻　248

外務員　[illegible]　254

重石　戶澤滿三郞　256

鑛物分析　朝陽分析所　222

クリーム　ヤラメル　22

爲春堂醫院　26

鑛物各種分析　坂本分析所　225

恩給　[illegible]　山口屋　45

▲毛皮ナメシ專門　京城黃金町三丁目　和泉商行　73

賣地及貸地　喜多金光堂　98

法人登記公告　水原支廳　原州支廳

朝鮮總督府

正友會員の除名　藤井文吾　華道正友會

生花大會　期日 四月廿三日　場所 本町二丁目

縱覽隨意　三先流　横井松甫

鑛業用水車金物　薩摩式碎鑛器具　新原鍋屋

開業廣告　今般左記の處に開業し一般患者の診療に從事す　京城南米倉町　內科 小兒科　岩崎醫院

桐原象考

胃病新藥 マーゲン

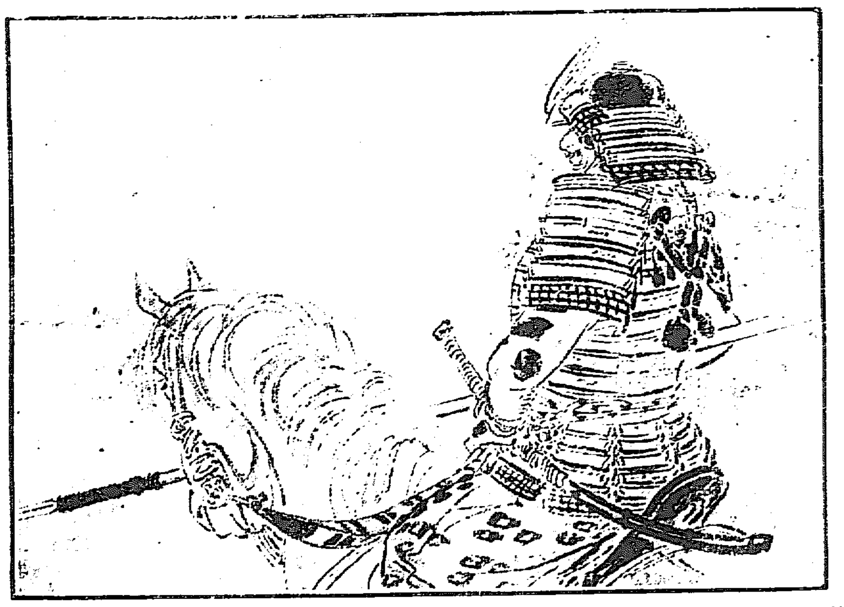
蒙處分論

# 千生瓢 (189)

須藤南翠作 筒井年峰畫

## 小牧山(七)

紀伊守之助は、固く首を振つて、父の前に無手と座した。
『父上は退かせられい。之助に於ては、いつかな退き申さぬ』
勝入齋は血氣に逸る我が伜を、憐れむやうに凝つと視て、
『進むべき時に退き、退くべき時に進むは、總じて戰塲未熟の致す處ぢや。敵の鋒へ未だ定まらざるに討つを利とすれども、先は敵にこそ依れ、今遠州勢の陣形を見るに、先鋒の殘驅けするげなれば、決して備へを紊したるに非ず。斯くして味方の若者輩を誘き出し、引包んで一當て當てん計略に極まつたぞ。夫に浮か〳〵乘つて戰ふは、これぞ暴虎馮河と申すもの。戰は今日に限るでない。先づ〳〵引け！』と、理を盡くして說き諭す。
紀伊守は御腕を扼つて、動もすれば打立たん勢ひを示した。
『やあ、軍令に背くに於ては、我子とても容赦はならぬぞ。殊には筑前守殿よりも、秀吉出馬致すまでは必ず合戰無用なりと、嚴に仰せ渡されたではないか。强情者の差出がましい。控へませい』
勝入齋は遂に聲を荒らげて、急度兵夫の面々を鎮めた。而て總軍の秩序を整へ、手早く陣拂ひを行つて、速かに犬山へ歸城したのであつた。
大須賀康高眞先に馬を驅つて、此の處に馳せ著けて見れば、勝入齋は既に引揚げた後にて、燒き棄ての篝筵の跡ばかり殘つてゐた。若殿原は其族の餘冷かならぬを見て、
『敵はまだ遠くは行かぬぞ。追ひ縋つて討ち取れや。高名手柄は各々の往かたぞ』と呼はつた。駿を揚げて驅け出さうとした。
此時大音に呼ばはるやう、



『やあ血迷うて死地に入る馬鹿者があらうかや。節程に軍略に長じた勝入齋が、殿軍に意を用ひず、空しく引揚げ申さうや。能き圖を計つて引揚げたる老練の大將、今追縋らば、やみ〳〵敵の術中に落つる道理ぞ。控へさつせへ』と、大手を擴げて立ち塞がつた。
續いて松平家忠も馳せ著けた。孰れも勝入齋が巧妙なる退き口を稱贊して、
『實に能くも織田殿の軍法を心得たものかな。今一歩退き後れたらんには、追討ちに喰ひ付いて、犬山までも付き慕ひたらんものを』と、鐙踏ん張り口惜がつた。
折しも森の彼方に當つて、追々と鐵砲の音が起つた。若殿原はさつとなつて、
『必定退き後れの池田勢ぞ。切めては之を撃ち破つて、此の腹を慰やさうよ』と猛り立つ。
酒井左衞門、呵々と笑つて、
『命二つ持ちたらん殿原は、驅け向つて試みられよ。よも一人たりとも生きて還る者はあるまい。今まで後に止つて、篤と敵の爲んやうを伺ふ程の者に、其程の用意なき事おざらうぞ。逸るばかりが勇氣ではおざるまいに』と、徐かに冷笑つた。
『いざ來ませ、若殿原。軍上手の退き口を見て、後の鑑鑑にせられよ。この殿軍の大將は、池田が家に名を得たる、渡邊、河合、片桐、荒尾の中と覺ゆるぞ』
忠次は斯う言つて馬を揉よみ乘り出した。果せるかな、荒尾同勝行、衛門、五百餘騎を堅陣に備へて、徐々と引揚ぐる樣、眼中全く敵無きが如く、洗勇賀に稱すべきものがあつた。若殿原も之を見て、忠次ほどの剛の者は、能く敵を知るの明あることに心より服したのである。
是日、織田信雄、野外信包、兵を出して、戸堀ケ岳頭を固めたれど、城兵强くして味方敗軍の色見ゆるより、蒲に取り籠つたる蒲生忠三郎氏郷、長谷川藤五郎秀一、加藤作内光泰に加勢を請ひ、尚勢州出張中の羽柴美濃守秀長、羽柴村次丸秀勝、長岡與一郎忠興、筒井陽舜房法印順慶等、馳せ向つて加勢すれども、城兵能く防ぎて拔き難く、持て餘したる處に、徳川殿満洲落陣の報聞えて、孰れも色を失つたのであつた。

## 日報俳壇 雄子郎選

春夜
銅鑼鳴つて船出を知る春の夜半 非城
閨御の焚火殘れり夜半の春 同
春の夜の歡樂の悲過ぎ來り 露風
請えぬと開きしが春夜語りり 浦南

日永
地下室の激務に慣れて日永の吏 麗水子
寄り見布干して漁村の遅日かな 青眼子
鯉ものに倦みて是非なく日永哉 合歡女
貸り本讀んで日永の書肆の主 求青

長閑
乘つて待つ尚馬付けや馬車ののどか 如泥子
遠く訪ひて在るを悔ゆ長閑かな 同
長閑さや病見忘れて濯ぐ母 雲帝
哨兵の事なく動く門長閑 求青

麗
蘭の香や車窓うらゝに飛ぶ鴫 求青
魚飛んで雲の崩れし湖うらゝ 山民
麗かや群蝶見居て疲れし眼 露風
勅使下り給ふ麗けき社頭かな 瘦郎

病床
座り得て我世廣さよ日うらゝ 如泥子

## 新刊紹介

▲『雄辯』『春期增刊』『天才號』 文明に中毒せられた現代は今や迷亂洸惑に陷つて居る。此際あらゆる方面に於て天才出でずんば人生の光明遂に望むことが出來ない。社會は實に今や天才の出現に依つて進化し、發展する。吾人は乃ち天才に俟つこと切なるものがある。同誌は乃ちそれ等天才に關する記事を滿載して實に五百有餘頁の大冊を出した。内容の主なるものは新天才論(新渡戸博士)靈妙なる天の賜(仲小路廉)天才不遇の時代(林毅陸)誰か天才(谷本博士)社甫と李白(鶴本日南)艦界の天才(樋口龍峽)[illegible]

▲滑稽誤譯集 [illegible]

▲觀察世界(四の五) [illegible]

▲傀儡 [illegible]

▲大日本新聞(二九七一) [illegible]

▲朝鮮及滿洲 [illegible]

▲小學研究(四) [illegible]

▲大日本青年(第二十九號) [illegible]

去十日鮮人木炭行商人より十一俵を買入れたるが内半分は可なり入目有り内五六俵は中に入れて外見丈けを虚飾して購著されたり買ふ物の不注意か否か鮮人よりは物を買ぬ事に極めた(正直者)▲南大門KY通生に借問す『過去の亨樂有ゆる悖德行爲の應報』とは抑も何ぞ殊に『多情なる兄』に至りては聊か愕然呆然たらざるを得ず揚雄謂へらく『言輕ければ則ち憂を招かん』と臨なく一婦女子の爽傷的片言を基礎として直ちに他人を忖度するは思慮ある者のとらざる道なり知るや『ウエールス』の所謂『婦人の力は其の舌に存する』を伏仰天地に愧ぢざる過去を有する余正しき人道を踏み來れる我今や逆境にありと雖ども胸中何等の不安あるなし人生の行路恰も波狀の如く一高一低は素より數の免れざる處なり。何人も余の現在を笑へ、毀らば毀れ『君子は已を願ふ』の人を毀ふの遑あらんや』(許晉齋生)▲KY君、君は十數萬の京日愛讀者中唯一人余の注意を惹かんが爲め十數萬枚の京日紙の貴重なる一部分を借りて余に致せる行爲に對しては之れを善意に解釋し茲に深甚なる感謝の意を表するものなるを記憶せられよ(和泉町官舍US生)

# 春衣品揃 見切品 切れ切せ 大賣出し

四月二十日より同二十六日まで

□ホトンド半額□
□の見切品澤山□

一、見切品と云へば皆さん御承知の通昨年の品です其の上の大見切の事とて殆んど本年の半額で求められます
二、賣出し中は此の半額に近き品を山ほど出します
三、新柄品は此際元價同樣の直段にて賣出し致します

京城本町一丁目
(丸に十)ますや呉服店
電話四八三番

眼科 内科 小見科
京城黄金町三丁目赤門通(電話二四四三番)
入院隨意
本田醫院
院長 本田 建義

## 富の道しるべ

山縣五十雄氏 村上唯吉氏合著

誰も貧乏は厭で、安樂有福な暮しを爲たいと願つて居るのですが、暮し方の下手な爲めに、貧乏で苦んで居る人が澤山あります此本には如何すれば金を溜めて、樂な身になる事が出來るかといふ事を、誰にもよく分るやうに易しく面白く書いてあります、例へば、乞食のやうな貧乏な女が百萬圓の長者になつた話もあり、五十歳の水呑百姓が引續く不幸の爲め食ふや、食はずの憂目に落ちたに拘らず、後には樂な身になつた話もあります。
一册の代價は僅に十五錢、送料は二錢の雜誌一册の値段ですから捨てたと思つて、買つて讀んで御覽なさい、成程と御悟りになつて、大きな德をなさる事は請合です。
▲一手販賣 京城日報社代理部

## ダリヤとカンナ

本園のダリヤは既に定評あるダリヤとカンナの種類の豊富なると栽培段別の多きは半島第一位なり其他蔬菜、草花種子、果樹、殖林苗木等定價表無代進呈す

電話四二七番 振替京城三二七番
京釜線鳥致院 朝鮮興農園

サクラ正宗 サクラ正宗

比較は最良の撰擇法なり

京城明治町一丁目
山邑京城支店
電話八四九番
振替京城五七番

梅毒淋病外科 皮膚病眼科
龍山元町二丁目 (入院隨意)
院主東京醫科大學專攻 望月憲麿
十字病院
電話三一四番

## 新刊書御案內

| 書名 | 著者 | 定價 |
|---|---|---|
| 滿洲寫眞帖 | 大阪屋號 | 一、〇〇 |
| 增補訂正二千五年史 | 竹越與三郎 | 三、〇〇 |
| 大正政局史論 | 德富猪一郎 | 一、〇〇 |
| 歐洲戰局の將來 | 田尻稻次郎 | 一、五〇 |
| 全國優良青年の美談 | 石田傳吉 | 五、〇〇 |
| 新國 | 遠藤隆吉 | 一、二〇 |
| 西洋綺譚 | 久保天隨 | 一、二〇 |
| 結婚と處世法 | 鈴木正也 | 五、五〇 |
| 不二言語 | 長尾藻城 | 五、五〇 |
| 實論心中 | 岡本綺堂 | 四〇 |
| 現代短歌評釋 | 金子薫園 | 六五 |
| 想華攻小品 | 姉崎嘲風 | 一、五〇 |
| ニコ〳〵論語 | 牧野元次郎 | 七五 |
| 脚本傑作集 | 一五 | 一、〇〇 |
| 十八十色名物男 | 大町桂月 | 一、〇〇 |
| 蕪村句集選講義 | 高濱虚子 | 一、四〇 |
| 新刷新美辭學 | 島村瀧太郎 | 一、一〇 |
| 言引讀和新辭典 | 特 | 一、九〇 |
| 朝鮮語會話語學作文 | 大谷安藏 | 四〇 |
| 自動車操縱法 | 山本共著 | 三、〇〇 |
| 近世土木工學要覽 | 島 | 二、五〇 |
| 朝鮮衛生法規類集 | 北村 | 八〇 |
| 新朝鮮古跡圖譜 | 二 | 一五、〇〇 |

京城本町 電話二〇八六 振替京城二九七三番
大阪屋號書店

## 大阪商船仁川出帆

○外國航路(臨時船を除く)の旅客は貨物は總て出帆の二日前迄に申込あれ
○群山、木浦、釜山、鎮南浦、長崎、神戸、大阪行
×安東丸 四月廿六日 午後五時
須磨丸 四月三十日 出帆
天智丸 五月二日
○信濃川丸 四月廿三日 後二時出帆
×信濃川丸 五月十一日 後二時出帆
鎮南浦大連行
×信濃川丸 五月六日 後二時出帆
信濃川丸 五月十四日 後二時出帆
○大連直行
×福州丸 四月廿八日 正午出帆
福州丸 五月九日
△群山、木浦、釜山、神戸大阪行
×仙頭丸 四月廿四日 午後五時出帆
×潮州丸 四月廿四日 午後二時出帆
福州丸 五月三日
△清津、浦鹽行(元山出帆)
印八城津西湖津ニ寄港 清津不寄港
宮島丸 四月廿九日 午後二時出帆
平安丸 五月五日
○上海、基隆、打狗行(大連出帆)
城津丸 四月廿三日 前十時出帆
湖北丸 四月 前十時出帆
御注意 ○安東丸は釜山、鎮南浦、浦鹽との連絡線に付き旅客を取扱はず
京城切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二二〇〇 内國通運會社支店 電話七〇八

## 日本郵船仁川出帆

○大連、太沽、牛莊行
三河丸 四月廿二日 正午出帆
相模丸 五月 五日 正午出帆
高砂丸 五月十一日 正午出帆
仁川海岸町一丁目 回漕部

## 共同汽船仁川出帆

阿波國共同汽船會社
芝罘、大連行
共同丸 四月廿九日午後二時出帆
城津、清津、浦鹽行(元山出帆)
第一 城鶴丸 月 日 午後九時出港
第三 西湖津沿岸各港を經て雄基行 月 日 午前八時出帆
(元山出帆) 阿波國共同汽船株式會社 本町一丁目 仁川代理店 山下回漕部
元山代理店 田口回漕部
京城取次店 河村運送店

## 朝鮮郵船

京城釜山出帆
全羅丸 五月一日
京畿丸 四月廿二日
黃海丸 四月廿六日
咸鏡丸 五月 日
釜山發
鏡城丸 四月廿三日
昌平丸 四月廿一日
慶興丸 四月廿七日 元山發
忠清丸 四月廿八日
平安丸 四月廿一日 元山發
永興丸 毎月廿八回 元山發
盛德丸 四月廿五日 釜山發
江陵丸 毎日 (釜山浦項)發
襄陽丸
三浦丸 四月廿三日 釜山發
海州丸、巨濟丸
錦江丸
南陽丸 毎日午前 仁川發
晉州丸 五月一日
麗水丸 四月廿一日 仁川發
江原丸 四月廿八日 仁川發
宗信丸 四月廿六日 仁川發
公州丸 四月廿九日 木浦發
公州丸 四月廿四日 木浦發
慶興丸 四月廿二日 木浦發
順天丸 三日目毎 木浦發
平安丸 四月廿四日 群山發
京城南大門通 松原運送店
大池回漕店

## 汽船釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行
神丸 四月 日 後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行
京城丸 月 日 後十時出帆
○門司、神戸、大阪行
小倉丸 月 日 後五時出帆
○元山、城津、浦鹽行
小倉丸 四月廿六日 後十時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行
第三平丸 月 日 後六時出帆
○鎮南浦、京城、仁川
天真丸 毎月三日九日廿一日廿六日 午後十時出帆
大池回漕店

## 尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
大正丸 四月 日 後四時出帆
大有丸 四月廿六日 後四時出帆
神代丸 四月二十日 後四時出帆
秀吉丸 四月廿三日 後四時出帆
君が代丸 月 日 後四時出帆
仁川港町 杉回漕部

## 商況

### 大阪株式特電

|  | 前場 | 後場 |
|---|---|---|
| 共同紡績 | 六五、六〇 | 六五、〇〇 |
| 鐘紡新株 | 一六〇、三〇 | 一六〇、七〇 |
| 同上新株 | 二三七、九〇 | 二三八、三〇 |
| 取引所新株 | 一〇五、三〇 | 一〇五、〇〇 |
| 大阪商船 | 二二五、五〇 | 二二五、四〇 |

▲二十日前場

| 限月 | 寄付 | 引 |
|---|---|---|
| 四月限 | 一三〇、一〇 | 一三〇、二〇 |
| 五月限 | 一二九、五〇 | 一二九、六〇 |
| 六月限 | 一二九、六〇 | 一二九、五〇 |
| 七月限 | 一二九、九〇 | 一二九、七〇 |

### 大阪期米特電(十九日)

| 限月 | 寄付 | 引 |
|---|---|---|
| 八月限 | 一三〇、三〇 | 一三〇、六〇 |
| 九月限 | 一三〇、七〇 | 一三一、〇〇 |

| | 寄付 | 高値 | 安値 | 止 |
|---|---|---|---|---|
| 先限 | 一三、五五 | 一三、六五 | 一三、五五 | 一三、六四 |

▲依然動かず 大阪の小幅入電に受けて十一圓二十錢に寄付き十九錢と小動き成行みたるが引際二錢と返し十九錢と小動きを示して散會 [illegible]
▲現物界 前日來不捗なりしも數からず引合にて漸く六圓八十錢見當にて氣配ず落ちず米忠精米所へ小口一口四十五錢にて買入れたるのみ氣配別段變らず保合の體に [illegible]

| | 高値 | 安値 |
|---|---|---|
| 平二 | 十一圓廿二錢 | 十一圓十八錢 |
| 出來高 | 九千三百五十石 | |
| 平二 先節 | 十一圓二十錢 | |

▲周衣を紛取す 住所不定金[illegible]は四月三日午前七時頃京城瑞麟洞梁在煥方に忍入り中家人の眠を[illegible]